

# 岩手県内遺跡発掘調査報告書

## (平成28年度 国庫補助事業)

平成30年3月

岩手県教育委員会

# **岩手県内遺跡発掘調査報告書**

(平成28年度 国庫補助事業)

**岩手県教育委員会**

## 序

埋蔵文化財は、先人の残した貴重な歴史的財産であり、国民共有の財産です。文化財保護法の理念にもとづき、埋蔵文化財を保護し後世に伝えていくことは、現代に生きる私たちの責務です。

当委員会では、昭和52年から国庫補助金の交付を受けて遺跡の分布調査を実施し、現在、岩手県内には約1万2千7百箇所あまりの遺跡が確認されています。これらの遺跡を広く周知するとともに、開発事業と埋蔵文化財保護の調整を図るために行った、遺跡の範囲や内容確認を目的とした試掘調査、小規模な記録保存目的の発掘調査などについて、その成果を報告書として平成元年度から刊行しています。

本県では、平成23年3月11日に発災した東日本大震災からの復興に係る埋蔵文化財の調査に鋭意取り組んでいるほか、国・県関連の開発事業に係る埋蔵文化財の調査にも取り組んでいるところです。

本報告書は、平成28年度に実施した県内遺跡調査事業による発掘調査及び試掘調査・分布調査の成果をまとめたものです。本書が広く活用され、埋蔵文化財保護の一助になれば幸いに存じます。

調査の実施と報告書の作成にあたり、ご指導とご協力をいただきました関係機関ならびに関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

平成30年3月

岩手県教育委員会

教育長 高橋嘉行

## 例　　言

- 1 本書は岩手県教育委員会が平成28年度に実施した県内遺跡調査事業に係る調査成果の報告である。
- 2 本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(以下、県埋蔵文化財センターと略記)及び関係市町村教育委員会の協力を得て行った。
- 3 遺跡位置図の作図は岩手県遺跡情報検索システム(平成28年度版)(国土地理院長の承認を得て、同院発行の25000分の1地形図(承認番号平28情使、第307-GISMAP36978号)を編集)を使用した。
- 4 発掘調査及び試掘調査の調査位置図の作図は各事業者から提供された工事計画図及び、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号平28情使、第169号)
- 5 発掘調査及び試掘調査の遺物実測図・遺物観察表は遺跡ごとに掲載した。
- 6 遺構名称は必要に応じて略号を付した。主な略号は以下のとおりである。  
　　堅穴建物：SI、炉・焼土：SL、土坑：SK、陥し穴状遺構：SKT、柱穴：SP、性格不明遺構：SX
- 7 遺構・遺物実測図の縮尺は以下のとおりで、それぞれにスケールを付した。実測図の表現は凡例のとおりである。  
　　遺構：1/30、1/40  
　　遺物：土器1/3、1/4
- 8 写真図版は、主な遺構・遺物を選択して掲載した。掲載縮尺は遺構については任意、遺物については、実測図と同寸である。
- 9 平成28年度の調査体制は次のとおりである。  
　　〈埋蔵文化財担当総括〉文化財専門員 佐藤 淳一  
　　〈予算・経理〉主事 須川 翼  
　　〈通常事業担当〉文化財専門員 烏居 達人・佐々木 務・大間 真人  
　　　　文化財調査員 高橋 祐  
　　〈復興事業担当〉文化財専門員 半澤 武彦  
　　　　文化財調査員 長屋敷 淳史・久保 賢治  
　　〔派遣専門職員〕上席文化財専門員 伴瀬 宗一(埼玉県)  
　　　　文化財専門員 大谷 宏治(静岡県)  
　　　　文化財専門員 小竹森 直子(滋賀県)  
　　※( )は派遣元の県、文化庁の調整による復興調査支援
- 10 野外調査・室内整理及び報告書の作成は、主として通常事業担当が担当し、報告書の編集は高橋が行った。なお、復興事業関係の調査については第152集として別途刊行している。
- 11 本事業の調査記録及び出土品は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課が保管している。

## 目 次

序

例言

### I 発掘調査

1	復旧治山事業上平地区復旧治山（ゼロ国債）工事（下野尻Ⅱ遺跡）	3
2	経営体育成基盤整備事業（望野Ⅱ遺跡）	5
3	農用地灾害復旧関連区画整理事業（馬越沢遺跡）	7
4	東北自動車道流沢南スマートインターチェンジ事業（大久保遺跡）	15
5	東北自動車道流沢南スマートインターチェンジ事業（高屋敷Ⅱ遺跡）	19

### II 試掘調査

1	一般国道4号水沢東バイパス事業（町屋敷遺跡・垣ノ内Ⅰ遺跡・大学Ⅰ遺跡・大学Ⅱ遺跡・可能性あり①・可能性あり②）	24
2	復旧治山事業上平地区復旧治山（ゼロ国債）工事（下野尻Ⅱ遺跡）	25
3	農地整備作業（通作条件整備）（下村向遺跡）	26
4	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）（中村遺跡）	27
5	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）男神・米沢・湯田地区（佐々木館跡・上平Ⅰ遺跡隣接地）	28
6	畑地帯総合整備事業（担い手育成型）（上里遺跡群）	30
7	床上浸水対策特別緊急事業（上矢次Ⅰ遺跡）	31
8	地域連携道路整備事業（耳取Ⅰ遺跡・耳取Ⅲ遺跡）	32
9	地域連携道路整備事業（高木中館遺跡）	34
10	道路環境改善（交通安全）事業（清水屋敷遺跡・新丁遺跡）	35
11	地域連携道路整備事業（戸桜遺跡）	36
12	葡萄沢地区予防治山工事（明道沢遺跡）	37
13	県単交通安全施設整備事業（志賀Ⅰ遺跡）	38
14	経営体育成基盤整備事業（望野Ⅰ遺跡）	39
15	経営体育成基盤整備事業（望野Ⅱ遺跡）	40
16	経営体育成基盤整備事業（旭ヶ丘遺跡）	41
17	経営体育成基盤整備事業（新田遺跡）	42
18	経営体育成基盤整備事業（太田遺跡）	43

19	一般国道397号小谷木橋地区地域連携道路整備事業（杉の堂遺跡）	44
20	一般国道107号梁川～川内地区地域連携道路整備事業（梅平遺跡・二渡遺跡）	46
21	経営体育成基盤事業都鳥地区（2期及び3期地区）（漆町遺跡・堤遺跡隣接地）	48
22	道路環境改善事業（無電柱化）志羅山地区電線共同溝整備事業（花立Ⅱ遺跡）	49
23	一般国道340号立丸峠地区道路改築事業（新田遺跡）	50
24	森林管理道平波沢線開設工事（七滝Ⅲ遺跡隣接地）	51
25	農用地灾害復旧関連区画整理事業（馬越沢遺跡）	52
26	主要地方道大船渡広田陸前高田線広田地区地域連携道路整備事業 (可能性あり（谷地遺跡）)	53
27	主要地方道大船渡広田陸前高田線船河原地区地域連携道路整備事業（内田貝塚）	54
28	主要地方道大船渡広田陸前高田線船河原地区地域連携道路整備事業 (峯岸遺跡・可能性ありⅠ)	56
29	地域連携道路整備事業（中村貝塚）	57
30	草地畜産基盤整備事業北三陸地区久慈団地（成谷館跡）	58
31	農地耕作条件改善事業（下羽場遺跡・下湯沢遺跡）	59
32	農地耕作条件改善事業（刈屋野遺跡隣接地・奥玉北ノ沢遺跡・花貫Ⅰ遺跡・花貫 遺跡隣接地・女聖遺跡隣接地）	61
33	東北自動車道滝沢南スマートインターチェンジ事業 (可能性あり（高屋敷Ⅱ遺跡）)	63

### III 調査一覧

1	発掘調査	65
2	試掘調査	66
3	工事立会	71
4	分布調査	77
	報告書抄録	

## 挿図目次

第1図 発掘調査位置図	1	第42図 清水屋敷遺跡・新丁遺跡位置図	35
第2図 下野尻II遺跡位置図	3	第43図 清水屋敷遺跡・新丁遺跡調査位置図	35
第3図 下野尻II遺跡調査位置図	3	第44図 戸桜遺跡位置図	36
第4図 下野尻II遺跡遺構配置・検出遺構図	4	第45図 戸桜遺跡調査位置図	36
第5図 下野尻II遺跡出土遺物図	4	第46図 明道沢遺跡位置図	37
第6図 望野II遺跡位置図	5	第47図 明道沢遺跡調査位置図	37
第7図 望野II遺跡調査位置図	5	第48図 志賀I遺跡位置図	38
第8図 望野II遺跡遺構配置・検出遺構図	6	第49図 志賀I遺跡調査位置図	38
第9図 馬越沢遺跡位置図	7	第50図 望野I遺跡位置図	39
第10図 馬越沢遺跡調査位置図	8	第51図 望野I遺跡調査位置図	39
第11図 馬越沢遺跡遺構配置図	9	第52図 望野II遺跡位置図	40
第12図 馬越沢遺跡検出遺構図	10	第53図 望野II遺跡調査位置図	40
第13図 馬越沢遺跡出土遺物図	11	第54図 旭ヶ丘遺跡位置図	41
第14図 大久保遺跡位置図	15	第55図 旭ヶ丘遺跡調査位置図	41
第15図 大久保遺跡調査位置図	15	第56図 新田遺跡位置図	42
第16図 大久保遺跡遺構配置図	16	第57図 新田遺跡調査位置図	42
第17図 大久保遺跡検出遺構図	17	第58図 太田遺跡位置図	43
第18図 高屋敷II遺跡位置図	19	第59図 太田遺跡調査位置図	43
第19図 高屋敷II遺跡調査位置図	19	第60図 杉の堂遺跡位置図	44
第20図 高屋敷II遺跡遺構配置図	20	第61図 杉の堂遺跡調査位置図	44
第21図 高屋敷II遺跡検出遺構図	21	第62図 杉の堂遺跡出土遺物図	45
第22図 試掘調査位置図	23	第63図 梅平遺跡・二波遺跡位置図	46
第23図 町屋敷遺跡ほか位置図	24	第64図 梅平遺跡調査位置図	46
第24図 町屋敷遺跡ほか調査位置図	24	第65図 二波遺跡調査位置図	47
第25図 下野尻II遺跡位置図	25	第66図 漆町遺跡・堤遺跡位置図	48
第26図 下野尻II遺跡調査位置図	25	第67図 漆町遺跡調査位置図	48
第27図 下村向遺跡位置図	26	第68図 花立II遺跡位置図	49
第28図 下村向遺跡調査位置図	26	第69図 花立II遺跡調査位置図	49
第29図 中村遺跡位置図	27	第70図 新田遺跡位置図	50
第30図 中村遺跡調査位置図	27	第71図 新田遺跡調査位置図	50
第31図 佐々木館跡・上平I遺跡位置図	28	第72図 七瀧III遺跡位置図	51
第32図 佐々木館跡・上平I遺跡隣接地 調査位置図	29	第73図 七瀧III遺跡隣接地調査位置図	51
第33図 上里遺跡群位置図	30	第74図 馬越沢遺跡位置図	52
第34図 上里遺跡群調査位置図	30	第75図 馬越沢遺跡調査位置図	52
第35図 上矢次I遺跡位置図	31	第76図 谷地遺跡位置図	53
第36図 上矢次I遺跡調査位置図	31	第77図 可能性あり(谷地遺跡)調査位置図	53
第37図 耳取I遺跡・耳取III遺跡位置図	32	第78図 内田貝塚位置図	54
第38図 耳取I遺跡出土遺物図	32	第79図 内田貝塚調査位置図	54
第39図 耳取I遺跡・耳取III遺跡調査位置図	33	第80図 内田貝塚出土遺物図	55
第40図 高木中館遺跡位置図	34	第81図 峯岸遺跡位置図	56
第41図 高木中館遺跡調査位置図	34	第82図 峯岸遺跡・可能性ありI調査位置図	56
		第83図 中村貝塚位置図	57

第84図 中村貝塚調査位置図	57	第92図 可能性あり(高屋敷II遺跡)調査位置図	63
第85図 成谷館跡位置図	58	第93図 試掘調査位置図一覧(1)	69
第86図 成谷館跡調査位置図	58	第94図 試掘調査位置図一覧(2)	70
第87図 下羽場遺跡・下湯沢遺跡位置図	59	第95図 工事立会位置図一覧(1)	73
第88図 下羽場遺跡・下湯沢遺跡調査位置図	60	第96図 工事立会位置図一覧(2)	74
第89図 奥玉北ノ沢遺跡ほか位置図	61	第97図 工事立会位置図一覧(3)	75
第90図 奥玉北ノ沢遺跡ほか調査位置図	62	第98図 工事立会位置図一覧(4)	76
第91図 高屋敷II遺跡位置図	63		

## 挿 表 目 次

第1表 下野尻II遺跡出土遺物観察表	4	第4表 耳取I遺跡出土遺物観察表	32
第2表 馬越沢遺跡構成属性表	10	第5表 杉の堂遺跡出土遺物観察表	45
第3表 馬越沢遺跡出土遺物観察表	11	第6表 内田貝塚出土遺物観察表	55

## 写真図版目次

写真図版1 下野尻II遺跡出土遺物	4	写真図版7 大久保遺跡検出遺構	18
写真図版2 下野尻II遺跡検出遺構	4	写真図版8 高屋敷II遺跡検出遺構	22
写真図版3 望野II遺跡検出遺構	6	写真図版9 耳取I遺跡出土遺物	32
写真図版4 馬越沢遺跡検出遺構・調査状況(1)	12	写真図版10 杉の堂遺跡出土遺物	45
写真図版5 馬越沢遺跡検出遺構・調査状況(2)	13	写真図版11 内田貝塚出土遺物	55
写真図版6 馬越沢遺跡検出遺構・調査状況(3)・ 出土遺物	14		

## I 発掘調査

- ① 下野尻Ⅱ遺跡（一戸町）
- ② 望野Ⅱ遺跡（北上市）
- ③ 馬越沢遺跡（山田町）
- ④ 大久保遺跡（滝沢市）
- ⑤ 高屋敷Ⅱ遺跡（滝沢市）



第1図 発掘調査位置図



## 1 復旧治山事業上平地区復旧治山（ゼロ国債）

## 工事

## 下野尻 II 遺跡 (JF50-1120)

所在地：二戸郡一戸町平糠字野尻5～3地内

事業者：県北広域振興局農政部

二戸農林振興センター林務室

調査期日：平成28年7月11日(月)～14日(木)

本遺跡は一戸町役場から南に約9.8kmの平糠川左岸の低位段丘面に立地している。調査対象範囲は、遺跡南端の段丘縁辺部にあたる標高約275mの平坦部で、現況は畑地や山林である。

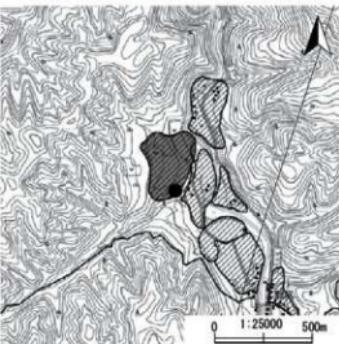
調査は平成28年6月に実施した試掘調査の結果を受けて、谷止工の建設によって掘削がおよぶ約60mを対象にした埋蔵文化財の記録保存を目的とした発掘調査である。

基本層序は以下のとおりである。

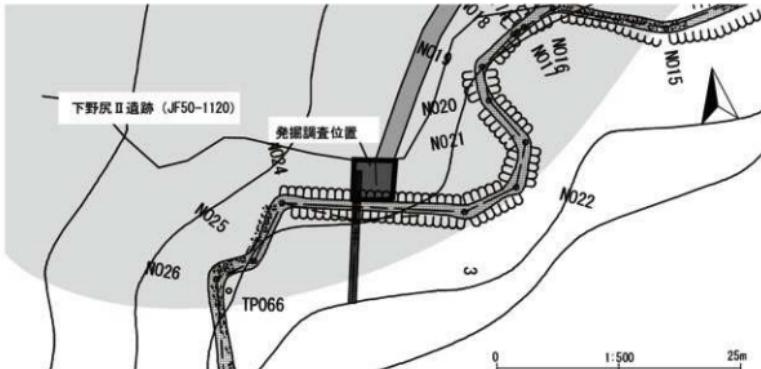
I 層	黒褐色	層厚	10～30cm	シルト（表土層）
II 層	黒色	層厚	30～80cm	シルト（盛土層）
III 層	暗褐色	層厚	20cm程度	シルト（遺構検出面）
IV 層	黄褐色	層厚	不明	シルト（地山）

調査の結果、試掘調査で確認された遺構は、長軸2.1m、短軸0.8m、確認できる深さ約1.1mの底部に木杭を挿したと思われる痕跡が認められる陥し穴状遺構であると判明した。覆土から縄文土器が出土していることや、周辺地域に縄文時代の遺跡が点在していることから縄文時代の遺構と推測する。

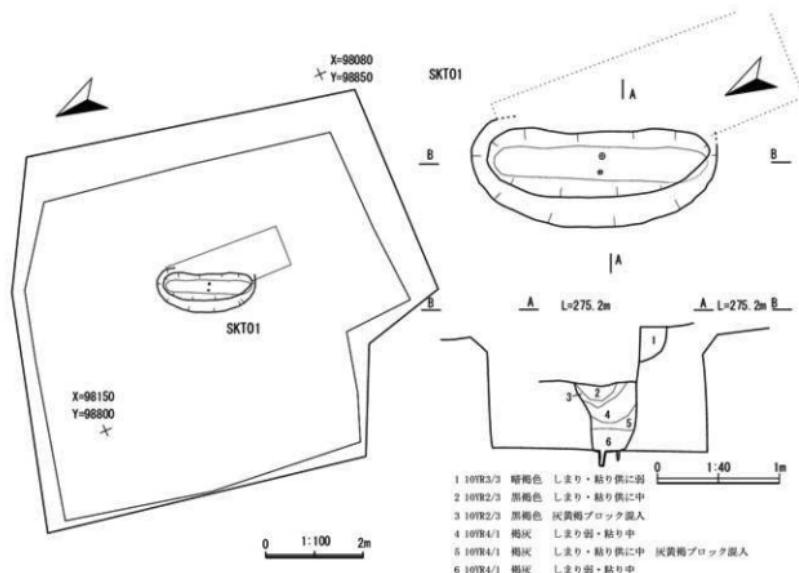
調査面積も狭隘なため今回の調査では、この陥し穴状遺構以外の遺構を確認することはできなかった。しかし、平糠川及びこの川に注ぐ沢に向かう比較的緩やかな南東向き斜面という立地から、本遺跡内には同様の陥し穴状遺構が広がるものと推測する。



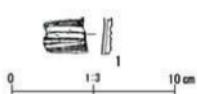
第2図 下野尻 II 遺跡位置図



第3図 下野尻 II 遺跡調査位置図



第4図 下野尻Ⅱ遺跡遺構配置・検出遺構図



第5図 下野尻Ⅱ遺跡出土遺物図



写真図版1 下野尻Ⅱ遺跡出土遺物

第1表 下野尻Ⅱ遺跡出土遺物観察表

測定番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm・g)			特徴
						口径	器高	底面径	
					幅	横	厚さ	重量	
1	SKT01	覆土	縄文土器	鉢	胴部	-	-	-	沈縞文、内面削れ、後期～晩期か



写真図版2 下野尻Ⅱ遺跡検出遺構

## 2 経営体育成基盤整備事業

### のぞみにいせき 望野Ⅱ遺跡 (ME73-0236)

所 在 地：北上市和賀町煤孫地内

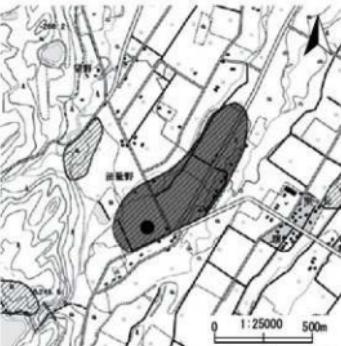
事 業 者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

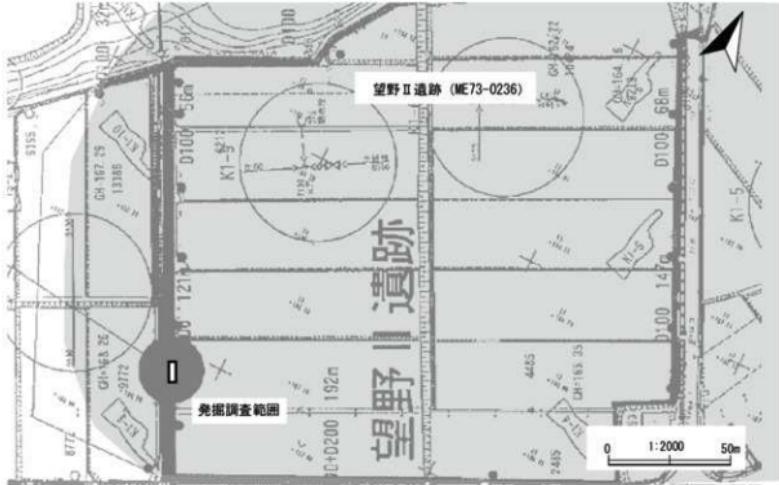
調査期日：平成28年10月3日(月)～4日(火)

調査対象地は、JR東日本北上線藤根駅から南西に約5.7km、和賀川と夏油川に挟まれた丘陵地と平野の接する場所に立地する縄文時代の遺跡で、種別は散布地となっている。現地標高は約163mから167mである。現況は水田として利用されている。

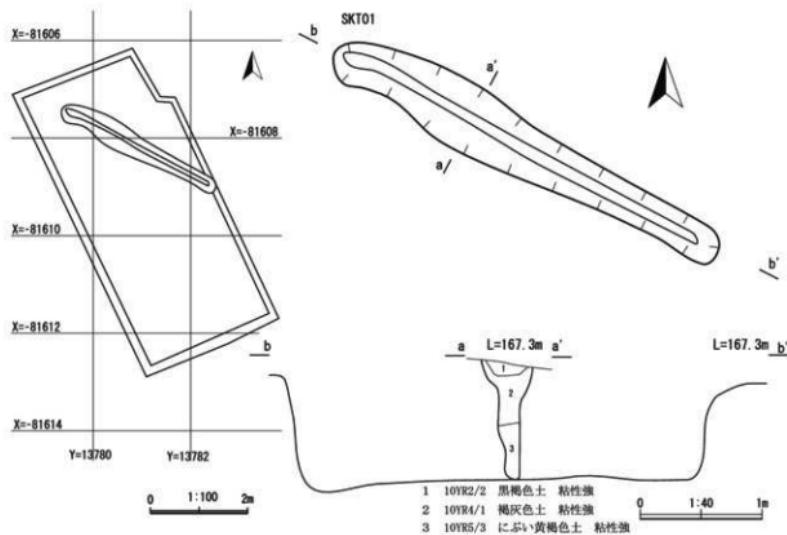
事業は水田の農道部分に給水のためのパイプラインを埋設する経営体育成基盤事業で、平成28年9月に当課で実施した試掘調査によって陥し穴状構造を検出したため本発掘調査を実施することになったものである。調査面積は約18m<sup>2</sup>で、基本土層は以下のとおりである。I層 表土25cm、II層 黄褐色盛土10～20cm、III層 黒褐色土10～15cmシルト(旧耕作土)、IV層 褐灰色土10～15cm(遺構検出面)、V層 にぶい黄褐色土 層厚不明(地山)。畦畔部下の平坦面に検出した陥し穴状構造は、長さ約3.5m、上幅0.8～1.2m・下幅0.1m・深さ約0.9mを測り、短軸の断面は、上端で開き漏斗状となっている。遺構埋土は、上端が黒色土、下端は黄褐色土が主体で、粘性はやや強い。遺物が出土していないため時代の特定は難しいが、過去の調査の出土遺物から縄文時代の構造である可能性が高い。



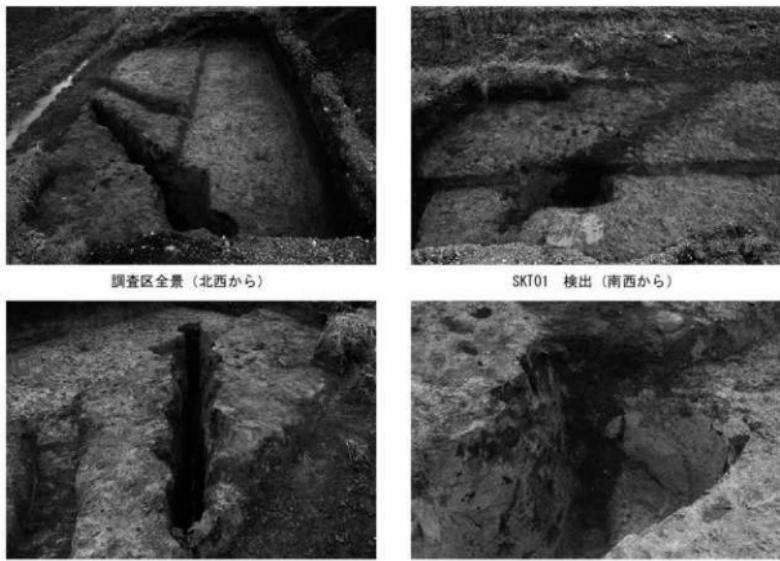
第6図 望野Ⅱ遺跡位置図



第7図 望野Ⅱ遺跡調査位置図



第8図 望野Ⅱ遺跡遺構配置・検出遺構図



写真図版3 望野Ⅱ遺跡検出遺構

## 3 農用地災害復旧関連区画整理事業

## 馬越沢遺跡 (LG83-0017)

所在 地：下閉伊郡山田町豊間根第17

地割地内

事 業 者：沿岸広域振興局農林部

宮古農林振興センター

調査日：平成28年10月4日(火)～7日(金)

遺跡は山田町役場から北西5.8kmの位置にあり、地表面の標高は70m前後である。豊間根川右岸の河岸段丘上に立地し、周辺には中井遺跡 (LG83-0019)、上野 I 遺跡 (LG83-0103) など鉄滓が出土する遺跡が点在する。現況は畑地や水田で地形が段状に変化されている。

調査は試掘調査結果に基づき農用地災害復旧関連区画整理事業の水路建設に先立って実施した。基本層序は下記の通りである。

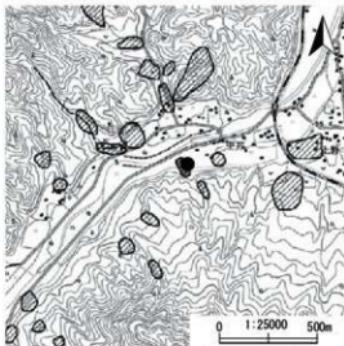
I 層 表土	層厚 20cm	下位に酸化鉄を筋状に含む。
II 層 黒色土	層厚 40cm	礫や粗砂を多く含む。
III 層 黒褐色土	層厚 20cm	細粒砂含む。やや粘土質。
IV 層 礫層	層厚 5～30cm	マサ土。区域によって厚さが大きく異なる。
V 層 黒褐色土	層厚 5～10cm	下位に炭化物顯著。粗砂混入する。
VI 層 褐色土	層厚 20cm	やや粘土質砂層。やや硬くしまる。検出面。
VII 層 礫層	層厚 5～20cm	細粒砂。区域によって厚さが異なる。
VIII 層 褐色土	層厚 20cm以上	小礫含む。粘性あり。

基本層序にはマサ土もしくは粗砂が黒色土や暗褐色土などに挟まれて幾層も観察されることから、洪水もしくは山崩れにより堆積したと想定できる。また、VI層上面には炭化物が多く検出されることから、VI層上面を検出面として調査を実施した結果、土坑（柱穴状含む）3基（2・7・8号遺構）、焼土4基（1・3・5・6号遺構）、4号遺構（埋設土器遺構）1基が検出された。なお、このほか西側壁面で土坑1基（9号遺構）を確認したが、調査区外のため調査は実施していない。

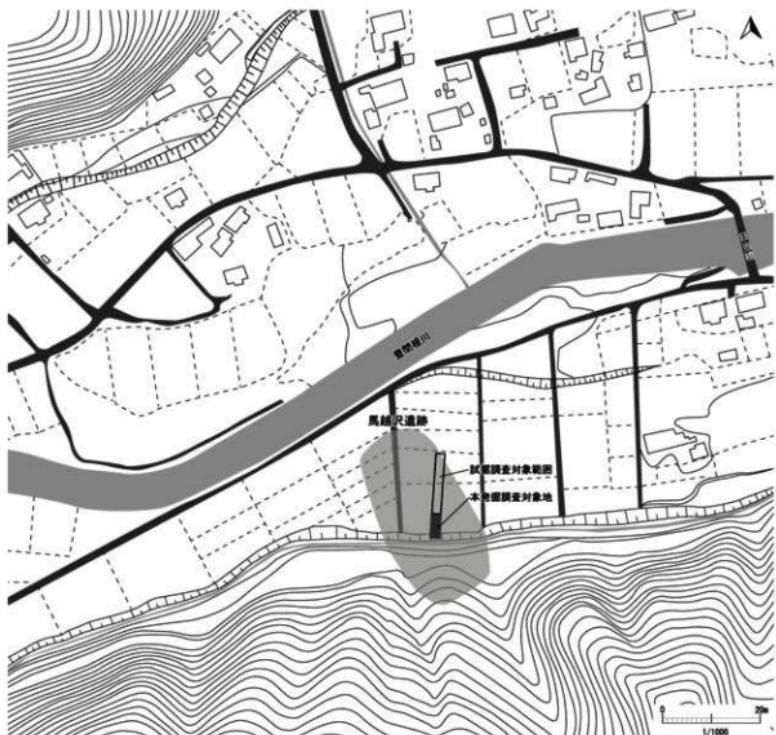
## 埋設土器遺構

土器を埋設したと考える4号遺構は6・7号遺構と重複関係にあるが、土層断面a-a'及びb-b'を確認すると、焼土層と炭化物層が壊されるように2・3層が堆積していることから、この堆積層は土器を埋設するための土坑の堆積層である可能性が高い。平面・断面とともに6・7号遺構と堆積土が判別し難いため土器を埋設するための土坑の形状は明確ではないが、残存する遺構の平面形や土層断面から判断して平面がやや不整形な長楕円形、断面が楕形で、長軸推定1.2m、短軸推定1.0m、深さ0.3m程度の土坑と想定した。この土坑の南側から1点の土器が横倒しされた状態で押しつぶされたような状況で出土した。もともと横置されていたか、本来正置されていたものが堆積時に横倒しされ押し潰された可能性もある。

なお、土器の下に焼土混じりの土砂（b-b'の5層）が確認できるが、埋設土器の土坑掘削の際に破壊した6号遺構の焼土が埋め戻された可能性が高い。



第9図 馬越沢遺跡位置図



第10図 馬越沢遺跡調査位置図

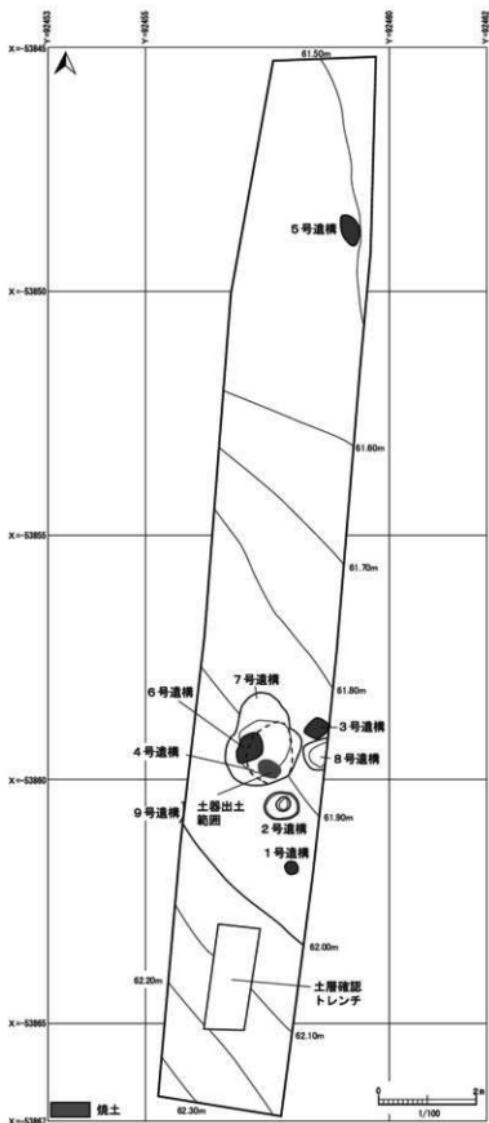
土器は縄文土器あるいは弥生土器である。口縁部は無文で、胴部には縄文を施す。口縁は波状口縁ではなく、口縁部内面に沈線がないこと、内面にケズリ調整が確認できることから、弥生土器の可能性が高い。弥生土器の場合には、弥生時代前期の谷起島式の可能性が高い。

なお、4・6・7号遺構の前後関係は、土層の観察から7号→6号→4号の順であり、3号遺構との時期的関係は不明である。

#### 焼土遺構

4基検出した焼土のうち、1・5号遺構は焼土の厚さが5mmほどであり、上層の堆積時に部分的に遺構が破壊されているが、おおよその焼土の範囲は把握できる。3号遺構は上層の堆積によって周囲が削られているがおおむね残存状況は良好である。3号遺構は全体的によく締まり、焼土の厚さも10cm程あることから長期間利用されていた可能性が高く、炉（地床炉）と想定する。1・5号遺構も同一面で確認されたことから、本来は3号遺構同様炉の可能性が高い。

6号遺構は、3号遺構同様よく締まっており地床炉である可能性が高い。また、この焼土（a-a'）



第11図 馬越沢遺跡遺構配置図

の6層)の下に炭化物(7層)、さらにその下に焼土(同8層)が確認できるため、複数回にわたって焼土が形成されている。このことから、6号遺構もやや地面を掘り窪めて形成された地床炉と想定でき、この想定が正しければ、この場所に堅穴建物が存在していた可能性が高い。

#### 土坑

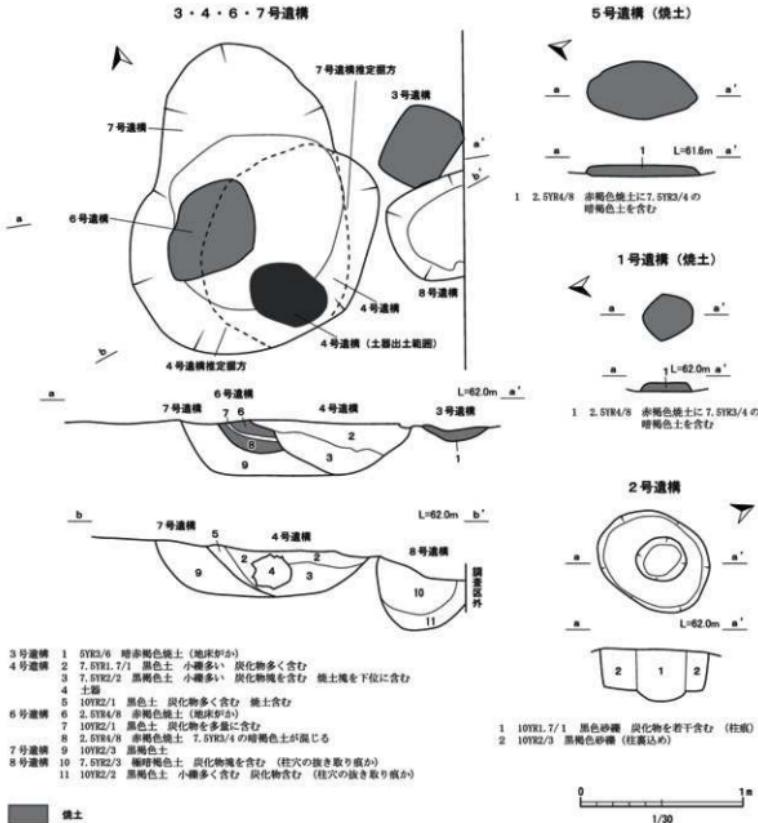
7号遺構は6号遺構とはほぼ同位置にある遺構で、本来1つの遺構である可能性があるが、7号遺構床面と6号遺構(焼土)の中間に堆積土が存在するため、調査段階では7号遺構がある程度埋まつた(埋め戻された)段階で6号遺構が形成されたと判断した。ただし、3・7号遺構、埋設土器遺構とともに黒色土で覆われており、同時期の遺構であると推断できる。

7号遺構は4号遺構に南東部を破壊されているため全体的な形状は不明確であるが、残存する部位から判断して、平面形は南北に長い長楕円形で、断面は椀形である。規模は長軸(南北)約1.9m、短軸(東西)約1.6m、深さ0.3mと推定する。

なお、遺構集中区(1・3・6・7号遺構)の焼土は地床炉である可能性が高いことから、複数の堅穴建物が存在していた可能性が想定できる。この仮定が正しければ、堅穴建物の時期は4号遺構の埋設土器の特徴から縄文時代晩期末から弥生時代前期と推定する。

#### 柱穴状遺構

2号遺構は平面長楕円形あるいは卵円長方形で、長軸(長辺)



第12図 馬越沢遺跡検出遺構図

第2表 馬越沢遺跡遺構属性表

遺構名	種別	平面規模 (m)	深さ (m)	出土遺物	時期	備考
1号	焼土遺構	0.3 × 0.36	0.05	—	縄文	堅穴建物の地床跡か?
2号	柱穴	0.72 × 0.56	0.32	—	平安~	獨立柱建物か?
3号	焼土遺構	0.5 × 0.4	0.1	—	縄文	堅穴建物の地床跡か?
4号	埋立土器遺構	1.2 × 1.0 串	0.3	縄文土器深鉢	縄文	堅穴建物の施設か?
5号	焼土遺構	0.68 × 0.36	0.05	—	縄文	堅穴建物の地床跡か?
6号	焼土遺構	0.72 × 0.52	0.2	—	縄文	堅穴建物の地床跡か?
7号	土坑	1.9 × 1.6	0.3	—	縄文	堅穴建物の施設か?
8号	柱穴	0.5 × 0.6+	0.45	—	平安~	獨立柱建物か?

※規模は、上面。数値の後に「+」を付加したものは、失われた部分や遺構が調査区外に続いていることを意味する。

0.72m、短軸（短辺）0.56m、深さ0.32mである。中央に柱痕が確認できる。土層及び床面の柱の当り痕から木柱は直径30cm程度と想定できる。8号遺構は東側が一部調査区外のため確定ではないが、2号遺構同様平面長楕円形あるいは隅丸長方形の可能性が高い。規模は南北0.5m以上、東西0.6m以上、深さは0.45mである。柱痕は確認できないが、2号遺構と類似することから柱穴で、柱が抜き取られたと想定した。

2・8号遺構は、遺物が出土していないことから時期は不明であるが、上述した焼土遺構などよりは上層部から掘り込まれていた可能性が高く、2号遺構については基本土層のⅡ層同様の埋土から比較的新しい時期の遺構と考えられる。試掘調査で鉄滓が出土していることから平安時代以降の可能性が高い。

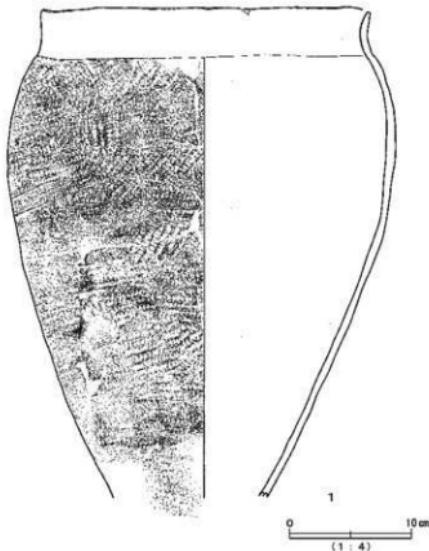
なお、未調査の9号遺構も2・8号遺構と形状や規模が類似することから同時期の遺構と判断できる。  
まとめ

今回の発掘調査の成果から、馬越沢遺跡は豊間根川の河岸段丘に営まれた縄文時代晩期～弥生時代前期の集落である可能性が高いことが判明した。試掘調査の結果も考慮すると平安時代の集落あるいは製鉄関連遺跡である可能性も想定できる。

第3表 馬越沢遺跡出土遺物観察表

掲載 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm·g)				特 徴	
						口径	器高	底部径	重量		
						縦	横	厚さ			
1	4号埋 設土器	覆土	縄文もしく は弥生土器	深鉢	口縁部～胴部	268	(402)	—	—	地文	

計測値の〔 〕は推定値、( ) が残存値を表す。



第13図 馬越沢遺跡出土遺物図



調査前の状況（北東から）



調査前の状況（北西から）



基本土層

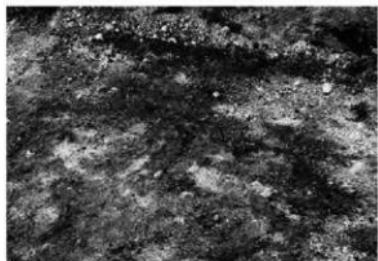


調査区南部遺構検出状況（北東から）

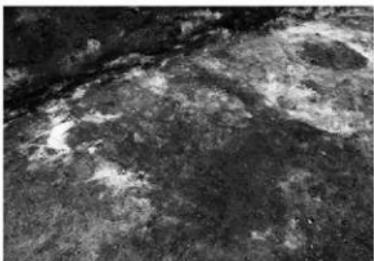


遺構検出状況全景（南から）

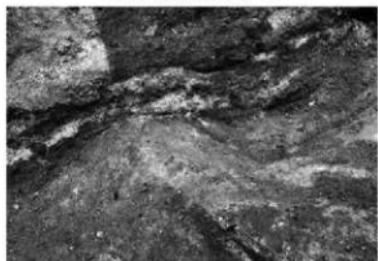
写真図版4 馬越沢遺跡検出遺構・調査状況（1）



1号遺構検出状況（西から）



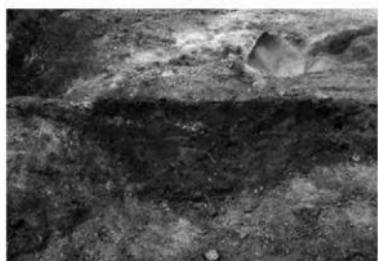
3・4・6・7号遺構検出状況（北西から）



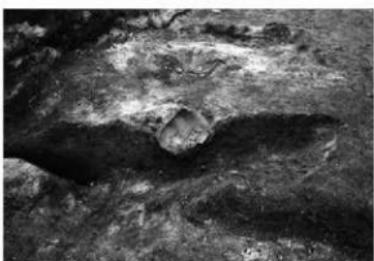
3号遺構完掘状況（北西から）



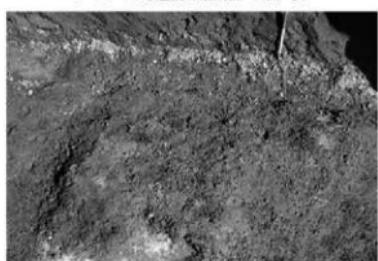
4号遺構土器出土状況（北から）



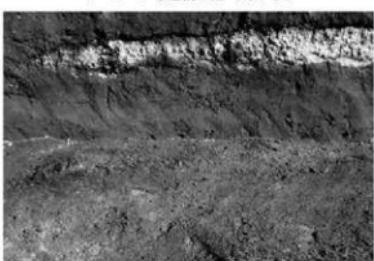
4・6・7号遺構土層断面（北から）



4・6・7号遺構土層（北から）



5号遺構検出状況（西から）

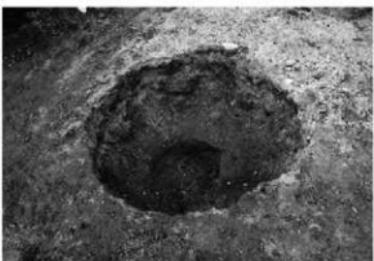


5号遺構断面状況（西から）

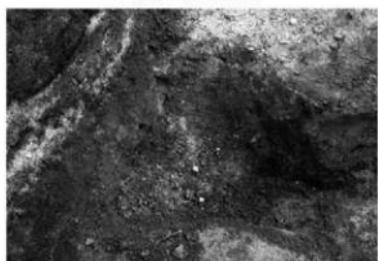
写真図版5 馬越沢遺跡検出遺構・調査状況（2）



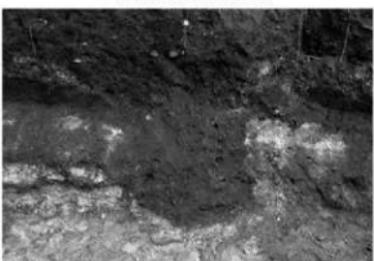
2号遺構土層（北から）



2号遺構完掘状況（北から）



8号遺構完掘状況（北西から）



9号遺構検出状況（東から。調査区外のため未調整）



現地調査の状況（遺構検出作業）



現地調査の状況（実測作業）



4号遺構出土土器

1  
(1 : 5)

#### 写真図版5 馬越沢遺跡検出遺構・調査状況（3）・出土遺物

## 4 東北自動車道滝沢南スマートインターチェンジ事業

**大久保遺跡 (KE95-1277)**

所在地：滝沢市滝沢字大久保地内

事業者：東日本高速道路株式会社東北支社

盛岡管理事務所

調査期日：平成28年10月11日(火)～20日(木)

調査はスマートインターチェンジ整備に係る埋蔵文化財の記録保存を目的とした本発掘調査である。

発掘調査範囲は試掘調査で確認した遺構とその周辺を調査区と設定し、便宜上調査区を1～3区に分け調査を行った。調査面積は約144m<sup>2</sup>である。

基本層序は以下のとおりである。

I層 黒褐色 層厚 10～20cm シルト（表土）

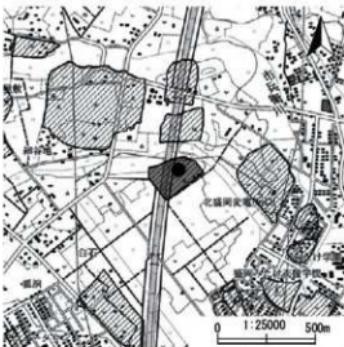
II層 暗褐色 層厚 10～20cm シルト

III層 黄褐色 層厚 30～40cm シルト（遺構検出面）

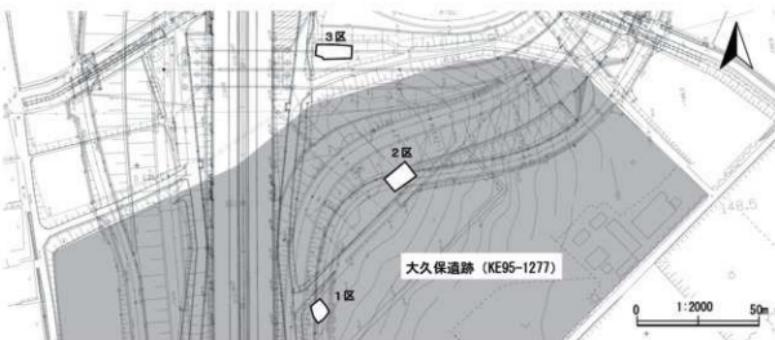
IV層 灰黄褐色 層厚 不明 シルト

調査の結果、1区より長楕円形の陥し穴状遺構1基 (SKT01)、2区より円形の土坑1基 (SK01) をいずれもIII層上面で検出した。遺構の規模はそれぞれSKT01が長軸3.14m×短軸0.62m、深さ0.92m、SK01が長軸2.42m×短軸2.34m、深さ0.62m、共に出土遺物がなく時代は判断しかねるもの、3区で縄文土器が数片出土したことや、遺跡の過去の調査事例から、縄文時代の遺構と推測する。また、3区とした試掘調査時に検出した竪穴状の落ち込みは沢状の自然地形であることを確認した。

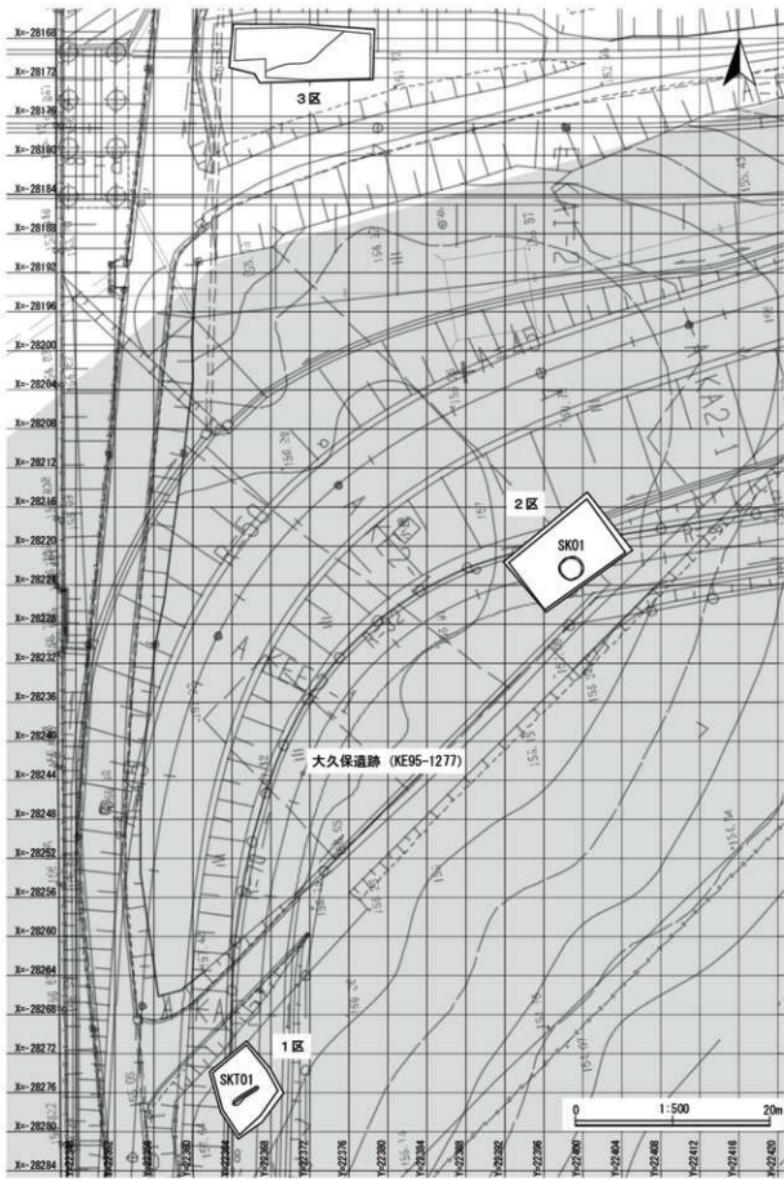
以上、過去の調査同様に本遺跡は縄文時代の狩猟域であったことを追認することができた。また、陥し穴とは考えがたい性格不明（貯蔵施設か）の円形の土坑が検出されたことから、今回の調査区周辺に集落跡が存在する可能性を指摘しておく。



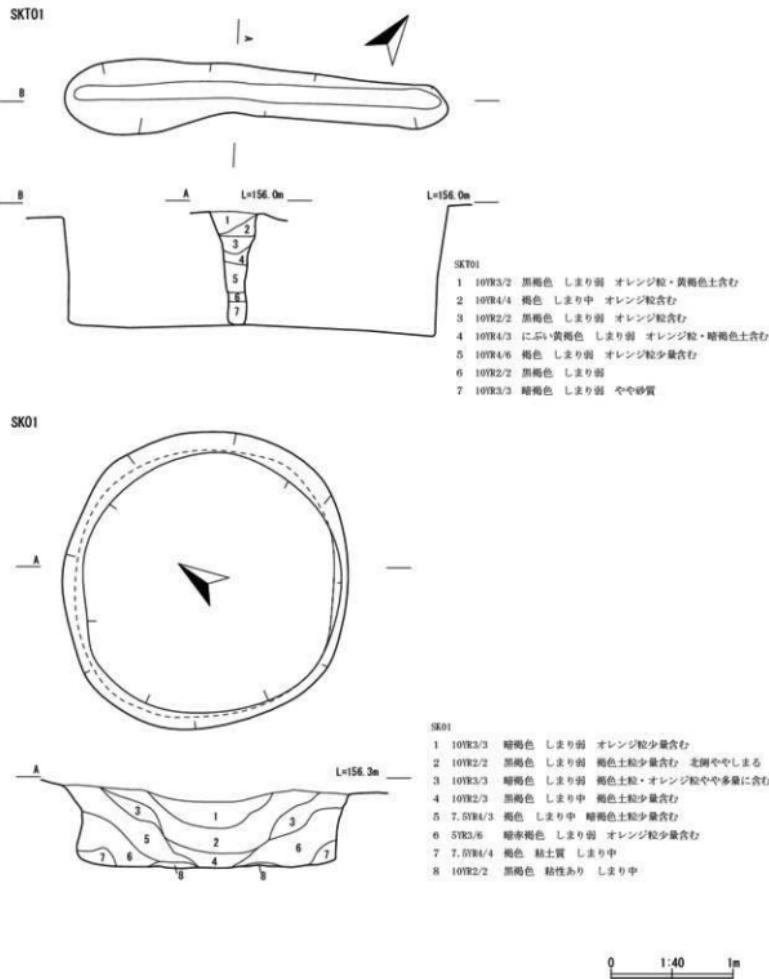
第14図 大久保遺跡位置図



第15図 大久保遺跡調査位置図



第16図 大久保遺跡遺構配置図



第17図 大久保遺跡検出遺構図



調査前風景（東から）



1区全景（北から）



2区全景（北東から）



3区全景（南西から）



SKT01断面（南西から）



SKT01完掘状況（南西から）



SKT01断面（西から）



SKT01完掘状況（西から）

#### 写真図版 7 大久保遺跡検出遺構

## 5 東北自動車道滝沢南スマートインターチェンジ事業

たかやしきにいせき  
高屋敷II遺跡 (KE95-1226)

所 在 地：滝沢市滝沢字高屋敷平地内

事 業 者：東日本高速道路株式会社東北支社

盛岡管理事務所

調査期日：平成28年10月11日(火)～20日(木)

高屋敷II遺跡は滝沢市役所から北東に約2.0km離れた火山灰砂台地上に位置する。現地標高は165m前後である。周辺は道路及び畠地である。過去に高速道路の整備に係る発掘調査が行われ、陥し穴と考えられる溝状土坑が数基検出されている。(岩手県教育委員会1979「高屋敷II遺跡」「岩手県文化財調査報告書第31集」)。

今回の調査はスマートインターチェンジ整備に係る埋蔵文化財の記録保存を目的とした本発掘調査である。発掘調査範囲は試掘調査で確認した遺構とその周辺を調査区と設定し、便宜上調査区を4 A区・4 B区として2区に分け調査を行った。調査面積は約488m<sup>2</sup>である。

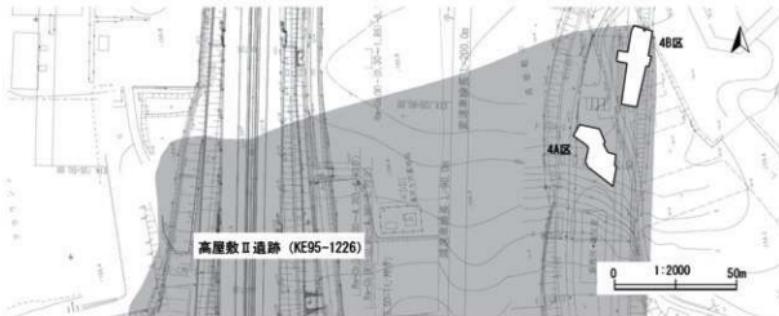
基本層序は以下のとおりである。

I 層	黒色	層厚	10～30cm	シルト（表土）
II 層	黒褐色	層厚	0～70cm	シルト（耕作土）
III 層	にぶい黄褐色	層厚	0～20cm	砂質シルト（遺構検出面）
IV 層	橙色	層厚	0～20cm	シルト
V 層	黄褐色	層厚	不 明	シルト

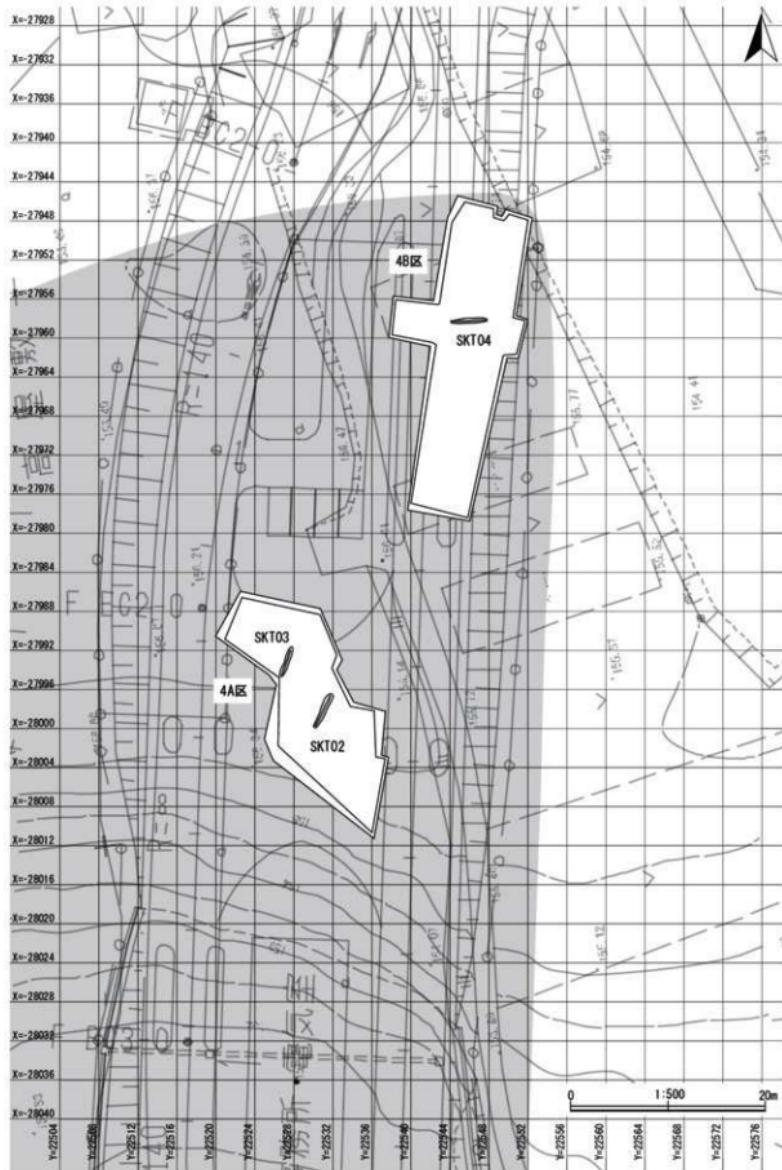
調査の結果、III層上面で4 A区より長楕円形の陥し穴状遺構1基、4 B区より長楕円形の陥し穴状遺構2基を検出した。遺構の規模はそれぞれSKT02が長軸3.84m×短軸0.72m、深さ1.12m、SKT03が長軸3.20m×短軸0.56m、深さ1.12m、SKT04が長軸3.72m×短軸0.54m、深さ1.20m、SKT02・03はおおよそ長軸方向を共にし、底面の短軸が10cmにも満たない特徴がある。いずれの遺構も遺物は出土せず、時代は判断しかねるもの、過去の調査事例から縄文時代の遺構と推測する。以上、過去の調査同様に本遺跡は縄文時代の狩猟場であったことを追認することができた。



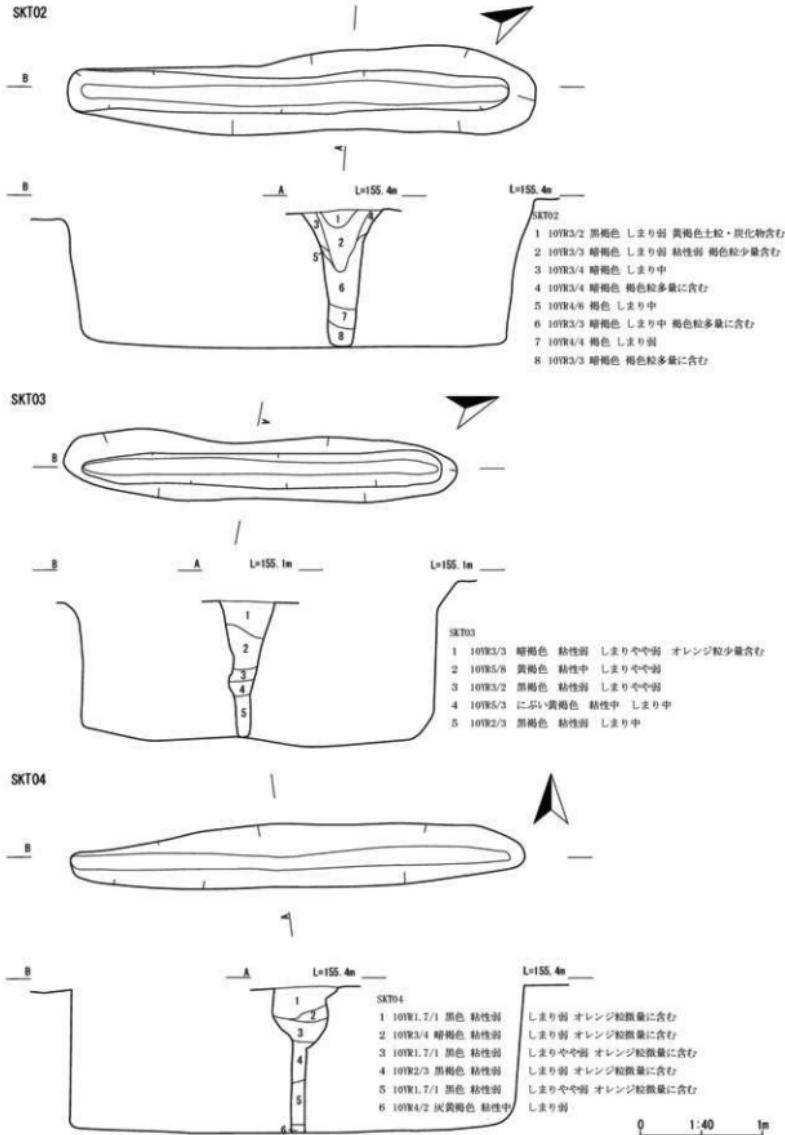
第18図 高屋敷II遺跡位置図



第19図 高屋敷II遺跡調査位置図



第20図 高屋敷II遺跡遺構配置図



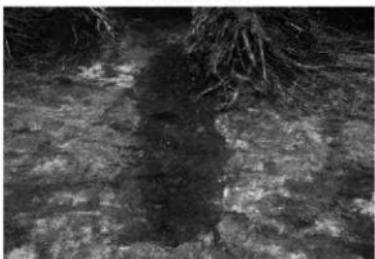
第21図 高屋敷II遺跡棟出遺構図



SKT02発掘状況（北西から）



SKT03発掘状況（南西から）



SKT02断面（北東から）



SKT02断面（北東から）



SKT02完掘状況（北東から）



SKT03断面（南西から）



SKT03断面（南西から）



SKT04断面（東から）

#### 写真図版8 高屋敷Ⅱ遺跡検出遺構

## II 試掘調査



第22図 試掘調査位置図

## 1 一般国道4号水沢東バイパス事業

まちやしきいせき

町屋敷遺跡 (NE27-1029)

かきのうちいちじけき

垣ノ内I遺跡 (NE27-1047)

だいがくいのうちじけき

大学I遺跡 (NE27-0098)

だいがくにいせき

大学II遺跡 (NE27-1018)

可能性あり①

可能性あり②

所 在 地：奥州市水沢区姉体町字北余目～

真城学大学地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局岩手河川国  
道事務所

調査期日：平成28年10月11日(火)～13日(木)

調査地は、JR水沢駅から南東へ直線距離約

1.2km、標高約40mのほぼ平坦な冲積地に位置する。今回の試掘範囲は南北に約500mにおよび、4つ  
の周知の埋蔵文化財包蔵地を縦断する。現況は水田や畑地、宅地であった。

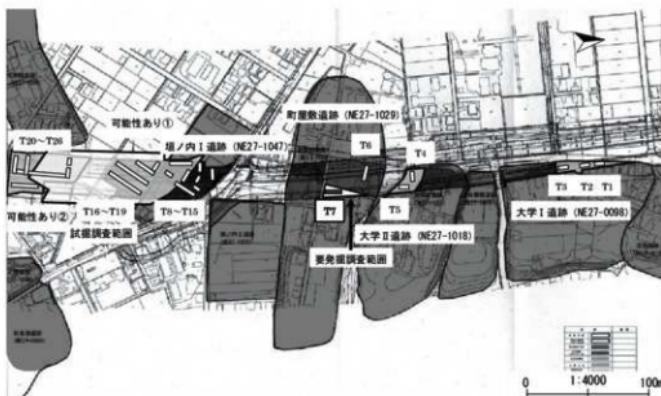
調査では26箇所のトレンチ（T 1～T 26）を設定したが、T 7のトレンチを除き、他のトレンチ  
(T 1～T 6、T 8～T 26) から遺構・遺物は検出されなかった。特に垣ノ内 I 遺跡以南の調査範囲は、非常に平坦かつ区画が整っており、耕作土（層厚20～30cm）直下に漸移層が見られず地山面が  
現れることから、過去に圃場整備等が行われ、自然堆積土と遺構本体が失われている可能性が考えら  
れる。

町屋敷遺跡の範囲内の唯一遺構を検出したトレンチ（T 7）からは、柱穴状ピット3基を確認し  
た。平成27年度に試掘調査を実施し、掘立柱建物跡と考えられる遺構を検出したトレンチの隣接地で  
ある。

(町屋敷遺跡：平成29年度県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施、その他：工事着手可)



第23図 町屋敷遺跡ほか位置図



第24図 町屋敷遺跡ほか調査位置図

## 2 復旧治山事業上平地区復旧治山(ゼロ国債)工事

## 下野尻Ⅱ遺跡 (JF50-1120)

所 在 地：二戸郡一戸町平糠字野尻4-1地内  
事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興セ  
ンター林務室

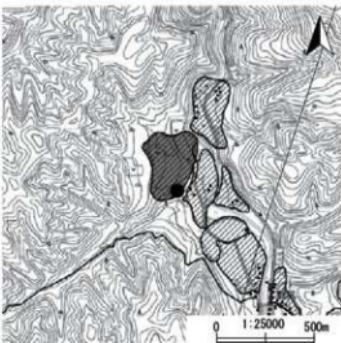
調査期日：平成28年6月23日(木)

下野尻Ⅱ遺跡は、一戸町役場から南に約9.8km離れた位置にあり、一戸町小鳥谷付近で馬淵川と合流する平糠川の左岸にある。標高は280m前後で、東向きの扇状に開かれた段丘面に立地し、現況は畑地や森林となっている。今回の試掘は、遺跡を縦断する小河川に、コンクリートの谷止め工を設置する工事で、掘削が及ぶ段丘線と対岸の急斜面が調査範囲となった。2箇所のトレーニング(T1・T2)を設定して調査を行った。

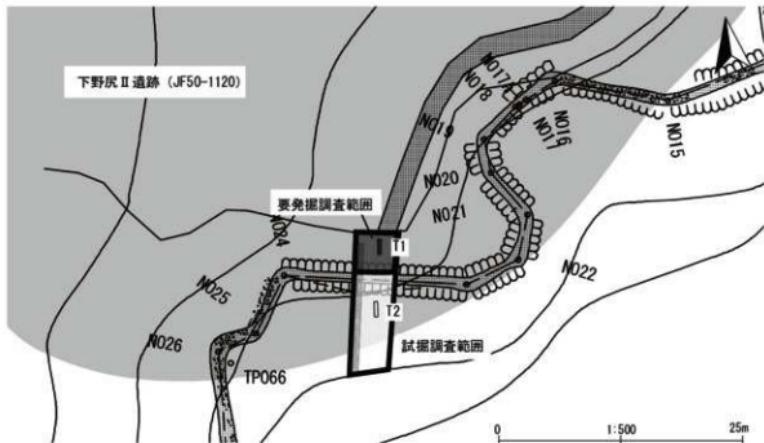
基本土層は以下のとおりである。I 層表土・耕作土(層厚20cm程度)、II 層黒色土(層厚75cm)、III 層暗褐色土(層厚5cm)、IV 層黄褐色土(層厚不明、検出面)。

遺跡主体部と思われる西側段丘面の縁辺部に設定したT1では、厚く堆積する黒色土の下位から繩文土器が出土し、地表から100cm下がった黄褐色土面(検出面)で、焼土を伴った橢円形の堅穴建物跡状のプラン1基と土坑1基を検出した。これらのことから遺跡の南東寄りの段丘線には、繩文時代の居住城が広がっている可能性が高い。対岸に設置したT2からは、遺構や遺物は検出されず、周囲の地形から既に削平された区域であることが窺えた。

以上の結果から、試掘調査した区域のうち、小河川の北西向き急斜面とT2設置区域を除いた、平坦面で本発掘調査が必要であると判断される。  
(平成28年度、当課で発掘調査実施)



第25図 下野尻Ⅱ遺跡位置図



第26図 下野尻Ⅱ遺跡調査位置図

### 3 農地整備作業（通作条件整備）

#### しもむらむかわいせき 下村向遺跡 (JF10-1090)

所 在 地：二戸郡一戸町下村向地内

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村建設課

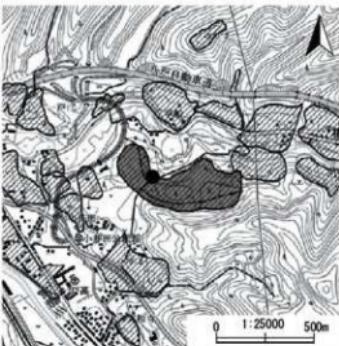
調査期日：平成28年10月19日(水)

下村向遺跡は、一戸町役場から北北東に約1.7km離れた位置にあり、馬淵川支流の小井田川左岸の丘陵地にある。標高は180m前後で、現況は畑地や森林となっている。今回の試掘調査は、遺跡を横断している林道の拡幅工事と鳥居の移設工事に伴うもので、4箇所のトレンチ(T1～T4)を設定して調査を行った。

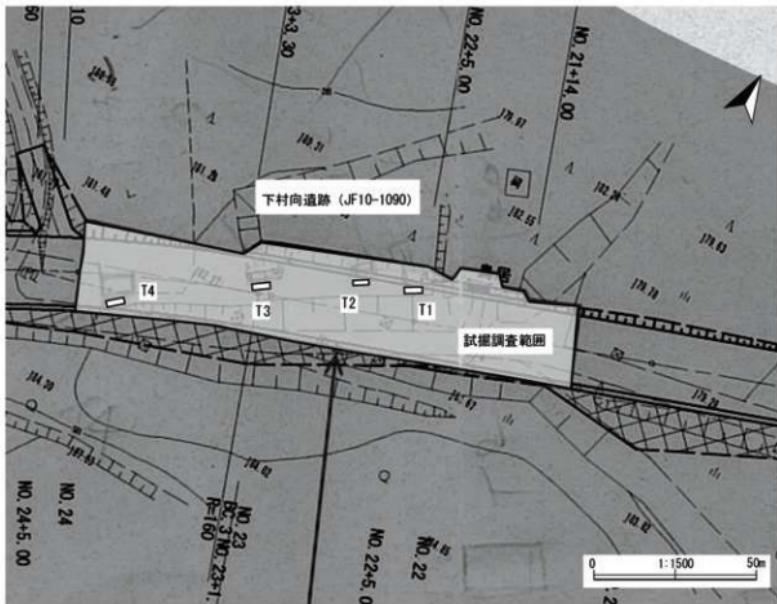
基本土層はI層表土（層厚30cm程度）、II層褐色土（層厚50～150cm以上、角礫混合）、III層黄褐色土（層厚不明・遺構検出面）である。

調査の結果、鳥居脇に設置したT1では、表土下が地山となるが、他のトレンチでは、表土下に角礫を伴う褐色土が厚く堆積し、厚いところでは170cmに及ぶところもあり、遺構や遺物は検出されなかった。調査区は舌状に細く延びる丘陵地形となっているが、山体崩壊の痕跡と考えられる。

(工事着手可)



第27図 下村向遺跡位置図



第28図 下村向遺跡調査位置図

## 4 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）

なかむらいせき  
中村遺跡 (JE89-0192)

所 在 地：二戸郡一戸町宇別字中村地内

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村建設課

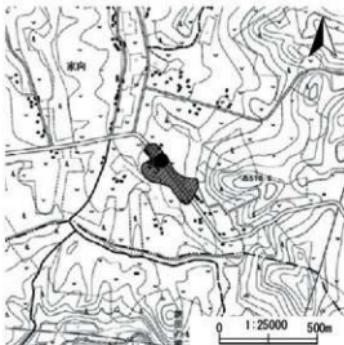
調査期日：平成28年10月20日(木)

中村遺跡は、一戸町役場から南に約18km離れた位置にあり、一戸町東奥中山の丘陵地に立地し、東側は中起伏山地が連なっている。標高は450m前後で、現況は畠地で、一部宅地や牛舎となっている。

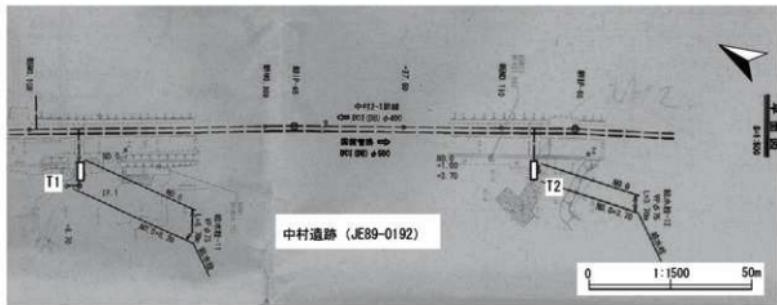
今回の試掘調査は、水道の給水栓敷設工事に伴うもので、道路脇に設定されている2箇所の敷設予定区域を掘削して調査を行った。

調査の結果、宅地の造成や付随する道路または給水管の敷設工事により、地山面が削平され、盛土が厚く堆積している状況で、遺構・遺物は確認されなかった。

(工事着手可)



第29図 中村遺跡位置図



第30図 中村遺跡調査位置図

5 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）男神・米沢・湯田地区

**佐々木館跡 (IE99-1237)**

**上平 I 遺跡 (IE99-1276) 隣接地**

所 在 地：二戸市米沢字家ノ上・上平地内

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室

調査期日：平成28年12月1日(木)～2日(金)

**【佐々木館跡】**

試掘調査箇所は、いわて銀河鉄道斗米駅から西に約540mの位置にある。標高は145m前後である。馬淵川左岸の段丘上に立地している。地山の一部は砂質土で、尾根沿いでは岩盤（緑色凝灰岩？）が認められる。

路面にある碎石の下はほぼ全て道路のための盛土で、地元の人の話によると何度も上方の斜面を削って道路を少しづつ広げていったとのことである。トレンチ断面からも幾度かにわたる造成の繰り返しが認められる。

6箇所のトレンチを設定し埋蔵文化財の有無を確認したが、いずれも上記のような状況で遺構・遺物とも確認できなかった。

(工事着手可)

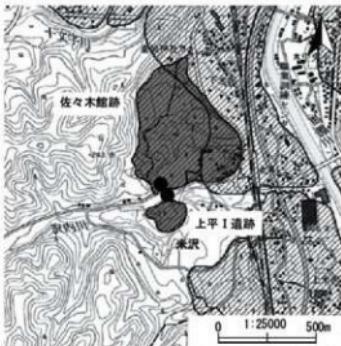
**【上平 I 遺跡隣接地】**

試掘調査箇所は、いわて銀河鉄道斗米駅から西に約540mの位置にある。標高は140m弱である。佐々木館跡の南に隣接し、同様に馬淵川左岸の段丘上に立地している。少なくとも5m以上はある灰色の火碎流堆積物が堆積し、その上に一部南部浮石も認められた。火碎流は十和田火山起源と考えられる。大規模かつ新しい八戸火碎流は約13,000年前とされている。

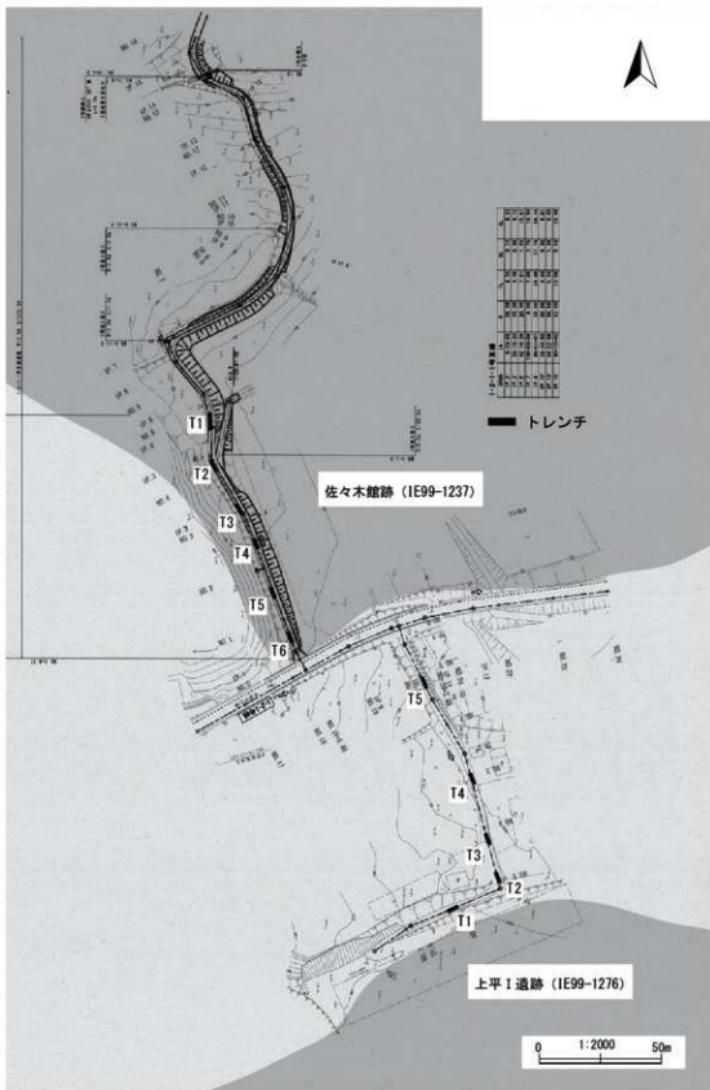
南側からトレンチを開けていったがT2では表土（路面）の直下が火碎流だった。T3では表土の下で南部浮石が検出され、やや下位の層から火碎流が検出された。T4も同様でT5では表土下から火碎流が検出された。

調査区全体では一部でトレンチの上層で南部浮石が確認されたが、大部分は数メートルある火碎流が厚く堆積し、確認可能な範囲では遺構・遺物等は確認できなかった。

(工事着手可)



第31図 佐々木館跡・上平I遺跡位置図



第32図 佐々木館跡・上平I遺跡隣接地調査位置図

## 6 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）

### 上里遺跡群 (JE09-1273)

所 在 地：二戸市石切所晴山地内

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林セン

ター農村整備室

調査期日：平成28年12月19日(月)

試掘調査箇所は、東北新幹線二戸駅の南西約1.1kmの位置にある。標高は140m前後で緩やかな斜面上に立地している。事業内容はりんごの霜の害を防ぐためのスプリンクラーの設置である。スプリンクラーに水を通すためのパイプの埋設予定地に沿って試掘トレンチを3箇所設定した。

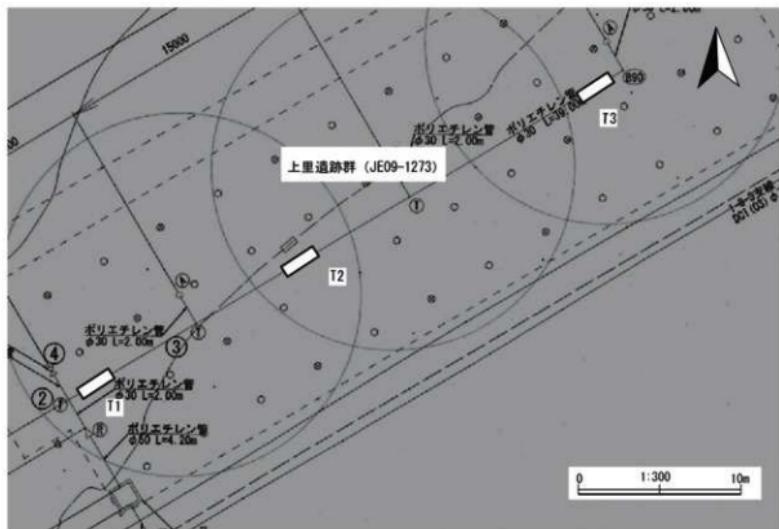
基本層序は以下のとおりである。I層黒褐色土（層厚45cm）、II層黒褐色土（黄褐色土粒含む・層厚20cm前後）、III層褐色土（濁る）（層厚10cm）、IV層褐色土（地山・堅い・層厚15cm以上）。

基本層序はI～IV層に分けられ、土層の状況からI～III層までは人為的な影響が及んでいると考えられる。現況は果樹園であり、その造成で大きく地形改変されていると思われる。この地形改変は地山面まで造成されており、いずれのトレンチからも遺構・遺物とも確認できなかった。

(工事着手可)



第33図 上里遺跡群位置図



第34図 上里遺跡群調査位置図

## 7 床上浸水対策特別緊急事業

### かみやつさいいちいせき 上矢次 I 遺跡 (LE46-0244)

所 在 地：紫波郡矢巾町上矢次地内

事 業 者：盛岡広域振興局土木部

調査期日：平成28年4月14日(木)

調査地は、矢巾町役場から北北西に約1.7km離れ、矢巾町立煙山小学校に隣接する地域である。奥羽山脈系の南昌山付近を源流とし、矢巾町市内を横切り北上川に合流する岩崎川が遺跡中央部を縱走する。この岩崎川は過去に幾度も氾濫し、近年では平成25年8月に大洪水を起こし大きな被害をもたらしている。

調査は岩崎川左岸の畑地に6カ所 (T1~T6)、

右岸最南部の荒地に1カ所 (T7) のトレンチを設定して行った。右岸中央部は調査区が狭く、既存の護岸壁があることから、トレンチを設定していない。

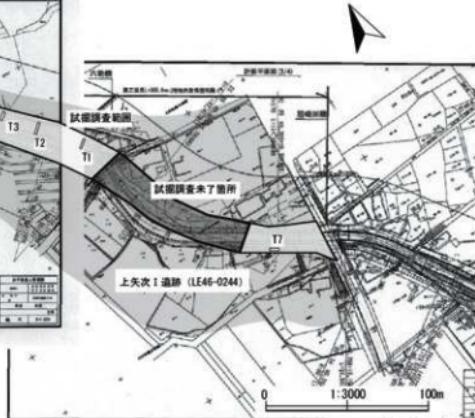
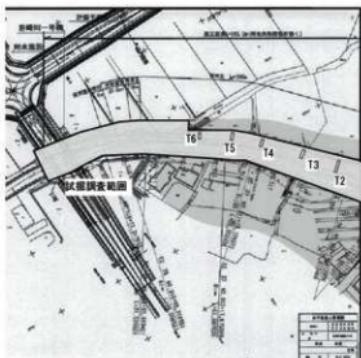
調査の結果、すべてのトレンチにおいて、盛土が厚く堆積し、その下は礫の混じった砂層と一部グライ化した粘土に覆われており、河川氾濫跡であることが判明した。いずれのトレンチからも遺構や遺物は検出されなかった。T1の盛土層下位にはビニールが観察でき、近隣は護岸工事の際に造成された田畠地であり、調査できなかった右岸は護岸工事で破壊されていると予測される。

また、現道となっている左岸最西部は、流路の状況から、河川域内と判断した。遺跡本体は、岩崎川からやや離れた東西側の現宅地付近と考えられる。

(工事着手可、一部試掘調査未了)



第35図 上矢次 I 遺跡位置図



第36図 上矢次 I 遺跡調査位置図

## 8 地域連携道路整備事業

みみとりいもいせき  
耳取 I 遺跡 (ME60-0053)

みみとりきんいせき  
耳取 III 遺跡 (MD59-2398)

所 在 地：和賀郡西和賀町岩滑橋地区

事 業 者：県南広域振興局土木部花巻土木センター

調査期日：平成28年11月24日(木)～25日(金)、

12月12日(月)

### 【耳取 I 遺跡】

事業地は西和賀町役場より南東に約5.1km離れた錦秋湖に注ぐ岩滑沢東岸の河岸段丘上に位置し、周知の埋蔵文化財包蔵地である耳取 I 遺跡の低位段丘面にあたる標高約234～241mの場所である。当該遺跡については、過去に東北横断道秋田線建設に伴う発掘調査が行われ、県内で調査事例の少ない旧石器時代の遺物が確認されている（岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第232集、第292集）。

基本層序は以下のとおりである。I 層黒褐色（層厚10～20cm・シルト（表土））、II 層暗褐色（層厚0～20cm・シルト）、III 層黄褐色（層厚20～60cm・シルト）、IV 層明黄褐色（層厚不明・砂礫）。

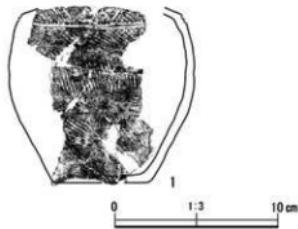
調査の結果、T 2 の III 層中にびい黄褐色土の竪穴建物状の楕円形プラン 1 基を確認した。壁面では緩い立ち上がりも確認できる。出土遺物より弥生時代の遺構と推測される。なお、標高の高い地点のトレンチ（T 4）からは遺構・遺物は見つかっておらず削平を受けていると思われる。

(平成29年度、県埋蔵文化財センターが発掘調査実施)

### 【耳取 III 遺跡】

試掘トレンチを調査区全体で 4 箇所設定した。調査の結果、いずれのトレンチも表土（I 層）下に、自然堆積層と考えられる暗褐色土（II 層）及び明黄褐色土（III 層）の堆積を確認した。遺構の検出は III 層上面で行い、遺物の確認はびい黄褐色土（IV 層）まで行ったものの、いずれのトレンチからも遺構・遺物は発見されなかった。

(工事着手可)



第38図 耳取 I 遺跡出土遺物図

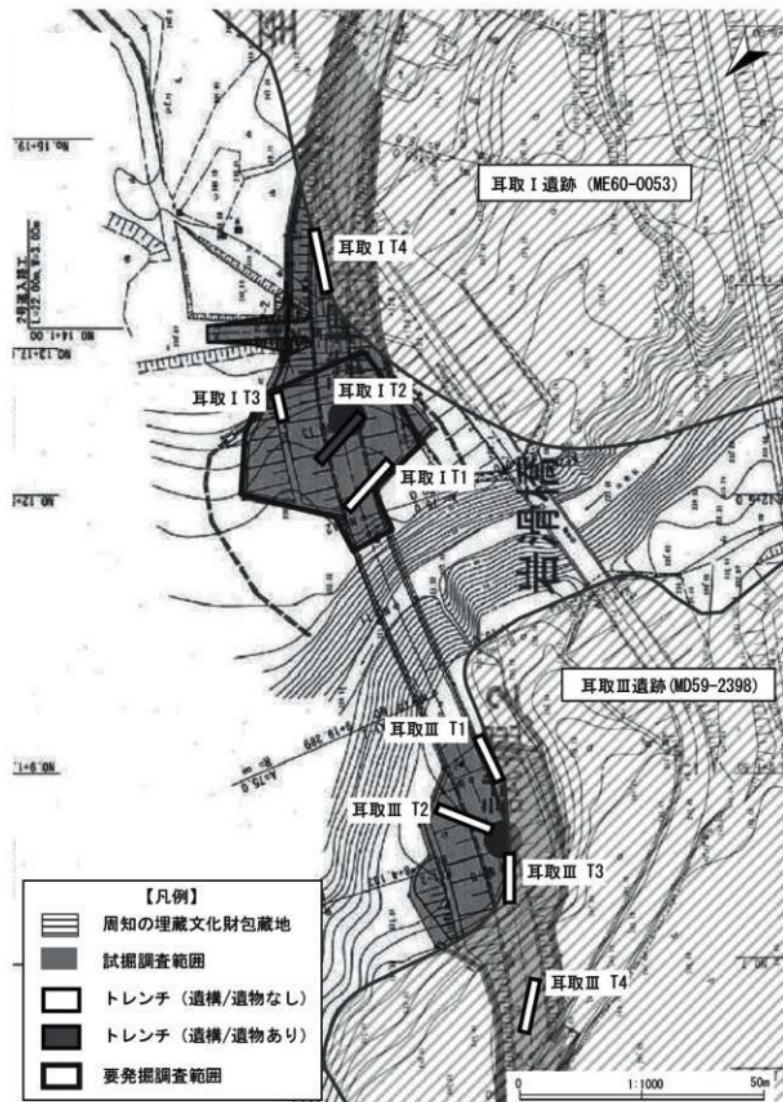


写真図版9 耳取 I 遺跡出土遺物

### 第4表 耳取 I 遺跡出土遺物観察表

測定番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm·g)			特徴
						口径	器高	底部径	
					幅	横	厚さ	重量	
1 T2	遺構覆土	弥生土器	壺		胴部～底部	—	(10.8)	(5.8)	—

計測値の〔 〕は推定値。( ) が残存値を表す。



第39図 耳取 I 遺跡・耳取III 遺跡調査位置図

## 9 地域連携道路整備事業

### たかぎなかだいせき 高木中館遺跡 (ME36-0218)

所 在 地：花巻市高木地内

事 業 者：県南広域振興局土木部花巻土木セン  
ター

調査期日：平成28年5月26日(木)

高木中館遺跡は、JR花巻駅から南東方向約3kmの地点、標高約71m前後を測る花巻市高木地内の北上川左岸の河岸段丘縁辺部付近に位置する縄文・古代の集落跡遺跡である。

過去に花巻東バイパス改築工事にともない岩手県教育委員会の試掘調査を経て、平成15・16年度、同遺跡を県埋蔵文化財センターが発掘調査をおこなっている。調査の結果、竪穴建物跡や掘立柱建物跡などを検出しているが、近年に土地変更が加えられていることや調査区全域での搅乱跡を多数確認したとの記載もある。(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第471集)。

今回の試掘調査は、主要地方道花巻北上線の道路整備に伴う道路敷設部と遺跡範囲が重複する部分に試掘トレンチを2箇所設定し、重複により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、整地造成のための盛土と考えられるI層の下に、旧耕作土と考えられるII層が確認された。III層黒褐色土は、粘土質の自然堆積層と考えられる。遺構検出はIV層にぶい黄褐色土までのところを行ったが、いずれのトレンチからも遺構・遺物は検出されなかった。

(工事着手可)



第40図 高木中館遺跡位置図



第41図 高木中館遺跡調査位置図

## 10 道路環境改善（交通安全）事業

しみずやしきいせき  
**清水屋敷遺跡 (ME28-2294)**しんちょういせき  
**新丁遺跡 (ME28-2296)**

所 在 地：花巻市東和町前郷地区

事 業 者：県南広域振興局土木部花巻土木セン  
ター

調査日：平成28年6月28日(火)

清水屋敷遺跡及び新丁遺跡はJR釜石線土沢駅の南約400mの位置にあり、標高は105m前後である。この二つの遺跡はいずれも沖積地中の微高地にあり、広がりも連続しているため、今回の回答では一括して扱う。周囲との比高は1m程度である。

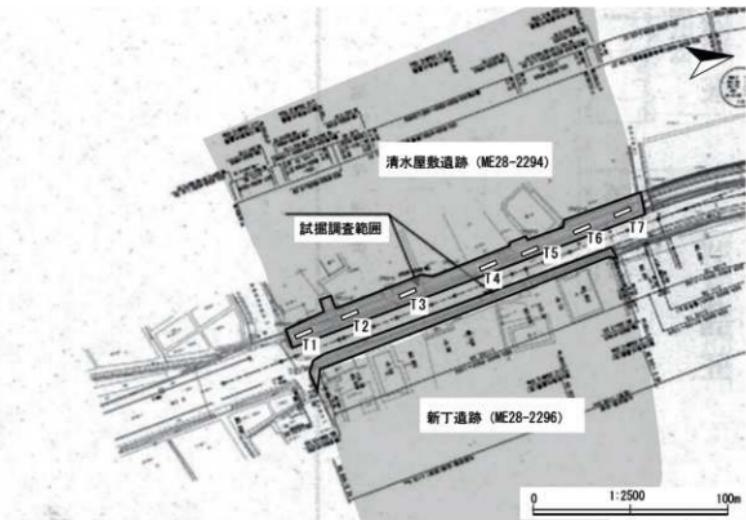
事業は道路環境改善に係るもので、歩道整備、水路改修などからなる。水路改修は東側で新丁遺跡がある。これは既に掘削された石垣で組まれた水路を改修するため、試掘は不要と判断した。従って今回は西側の清水屋敷遺跡を主に調査した。

西側には7箇所トレンチを設定した。耕作土は厚く30cm程度あった。その下に暗褐色土等が50~60cmほどあり、これも盛土あるいは造成によって人为的に堆積したと考えられる。雲母状の細片を多く含む褐色土はこの上の層とは不連続で、これより下が自然堆積と考えられる。遺構検出可能な面はこの層の上面と考えられる。いずれのトレンチからも遺構・遺物は検出されなかった。

(工事着手可)



第42図 清水屋敷遺跡・新丁遺跡位置図



第43図 清水屋敷遺跡・新丁遺跡調査位置図

## 11 地域連携道路整備事業

### 戸桜遺跡 (ME46-1354)

所 在 地：北上市更木本地内

事 業 者：県南広域振興局土木部花巻土木センター

調査期日：平成28年7月22日(金)

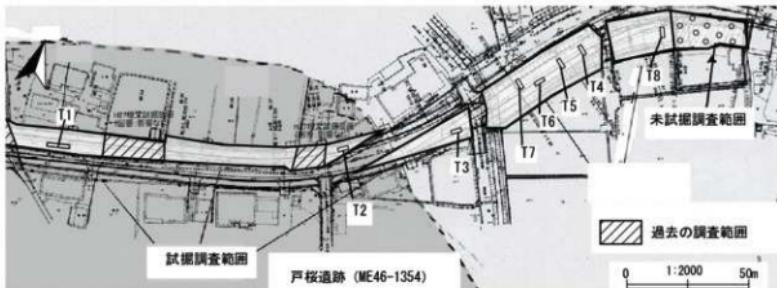
戸桜遺跡は北上市役所の北北東6.7km、北上川左岸の氾濫平野に位置する。遺跡は北西～南東方向へ細長く延びる標高68m前後の自然堤防上に立地している。事業に伴う試掘調査は、平成26・27年度に実施しており、平成27年度の試掘調査では、水田の両脇が調査区域となり遺構・遺物ともに検出されず、影響なしと回答(H27年11月30日付け教生第1313号)としている。

基本層序は以下のとおりである。I層耕作土（層厚20～150cm）、II層黒色土（層厚0～40cm）、III層暗褐色砂質土（層厚0～70cm）、IV層褐色砂質土（層厚0～40cm）、V層黒褐色砂質土（層厚0～40cm）、VI層黄褐色砂質土（層厚不明）。

試掘調査は、トレーナー設定可能な区域に限定されたが、調査区西側の微高地に2箇所(T1・T2)、微高地の東端に1箇所(T3)、東側の旧河道域と想定されている東側に5箇所(T4～8)のトレーナーを設定した。最西端のT1では、ほぼ基本層とおりの状況であったがIV層褐色砂質土上面、VI層黄褐色砂質土上面での2面での確認で、遺構・遺物とともに確認されなかった。T2では褐色粘土や黒色粘土が厚く堆積し、全体的に削平されている様相が見えた。VI層上面まで170cmの深さがあり、遺構・遺物は検出されなかった。T3は、疊もしくは砂が厚く堆積し、検出面であるVI層面はグライ化した粘土層となり、T3周辺は旧河道域になると考えられる。東側に設定したT4からT8については、80～100cmの深さでVI層が出現し、T3同様の粘土層となっている。

平成26・27年度の試掘調査結果と今回の試掘調査から、戸桜遺跡北側の事業予定地内においては遺構が希薄で、遺跡の主体は、県道南側の宅地となっている区域と考えられる。また、現在水田となっている区域から東側は旧河道域になり、旧河道は東側に広がっている。事業地の最東端は、現在宅地となっているが、旧河道から外れ、微高地となる可能性が高く、試掘調査が必要である。

(工事着手可、一部試掘未了)



第44図 戸桜遺跡位置図

## 12 葡萄沢地区予防治山工事

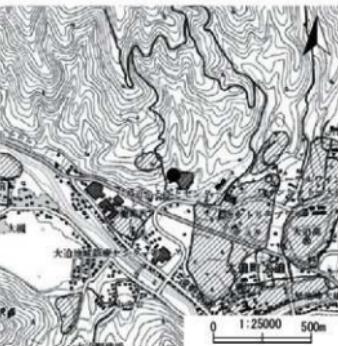
みょうどうざいせき  
明道沢遺跡 (LE99-1245)

所 在 地：花巻市大迫町大迫葡萄沢地内

事 業 者：県南広域振興局農政部花巻農林振興セ  
ンター

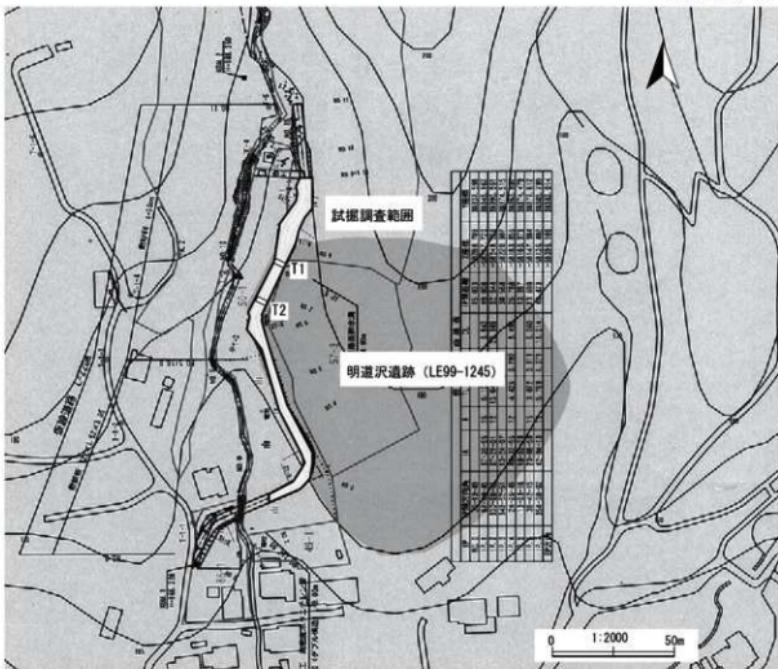
調査期日：平成28年12月13日(火)

試掘調査箇所は、花巻市総合文化財センターの北西約1.34kmの位置にある。標高は170m前後である。南側を稗貫川が西に流れている。調査箇所は稗貫川の北の丘陵が浸食された小さな沢状の地形に立地している。表土は薄く20cm程度でその直下は疊層となっている。この疊層は基盤が浸食されて堆積したものと考えられる。調査箇所の東側が舌状の台地になっており、そちらが遺跡の本体と考えられる。2箇所のトレンチを設定し埋蔵文化財を確認したが、いずれも上記のような状況で造構・遺物とも確認できなかった。



第46図 明道沢遺跡位置図

(工事着手可)



第47図 明道沢遺跡調査位置図

### 13 県単交通安全施設整備事業

#### 志賀 I 遺跡 (ME54-2140)

所 在 地：北上市和賀町藤根地内

事 業 者：県南広域振興局土木部北上土木セン  
ター

調査期日：平成28年9月13日(火)

志賀 I 遺跡は和賀川左岸の河岸段丘上に位置する平安時代の遺跡である。

事業予定地は志賀 I 遺跡の東端及びその周辺に位置する。現地標高は約92~93mである。

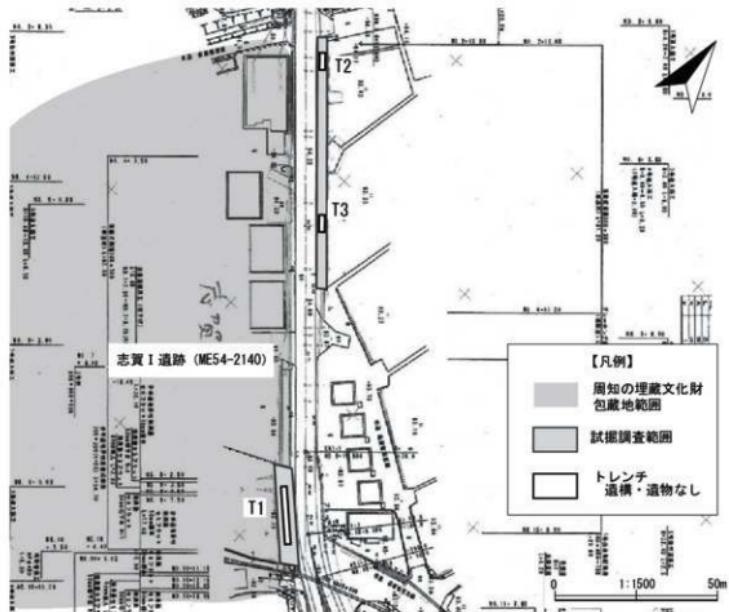
事業は道路整備事業に係るもので、試掘トレンチを調査区全体で3箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、調査区東端のT 1 では沢跡を確認した。遺物は含まない。T 2・T 3 は土地改変により旧地形は失われていた。調査の結果、いずれのトレンチからも遺構・遺物は発見されなかった。

(工事着手可)



第48図 志賀 I 遺跡位置図



第49図 志賀 I 遺跡調査位置図

## 14 経営体育成基盤整備事業

のぞみのいちいせき  
望野 I 遺跡 (ME73-0148)

所 在 地：北上市和賀町煤孫地区

事 業 者：県南広域振興局農政部北上農村整備セ  
ンター

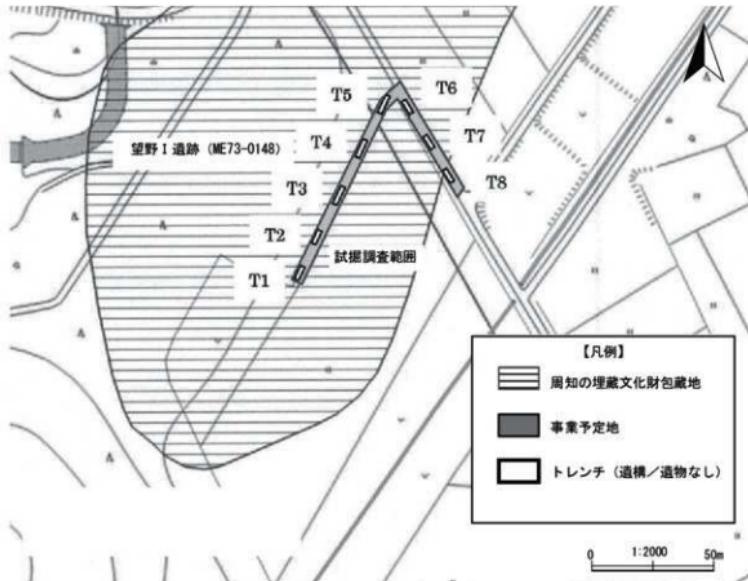
調査期日：平成28年9月5日(月)

望野 I 遺跡は、JR東日本北上線藤根駅から南西に約5.7km、和賀川と夏油川に挟まれた丘陵地と平野の接する場所に立地する縄文時代の遺跡で、種別は散布地となっている。現地標高は約165mである。現況は水田として利用されている。

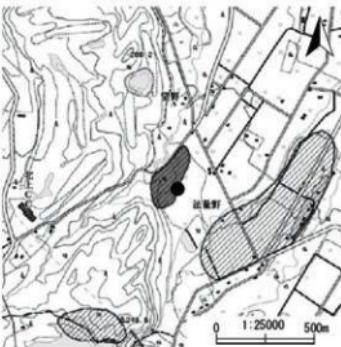
事業は、水田の農道部分に給水のためのパイプラインを埋設する経営体育成基盤事業で、埋設予定地に試掘トレンチを8箇所設定し、重機により造構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、T 6・T 7で自然堆積層（暗褐色土・黒色土）を確認したが、それ以外のトレンチからはこの層を確認することはできなかった。調査範囲内では大きな掘削を免れた農道の一部以外は、耕作地造成に伴う土地改変で造構が存在する可能性は低いと考えられる。いずれのトレンチからも造構・遺物は検出されなかった。

(工事着手可)



第51図 望野 I 遺跡調査位置図



第50図 望野 I 遺跡位置図

## 15 経営体育成基盤整備事業

### のぞみのにいせき 望野Ⅱ遺跡 (ME73-0236)

所 在 地：北上市和賀町煤孫地区

事 業 者：県南広域振興局農政部北上農村整備センター

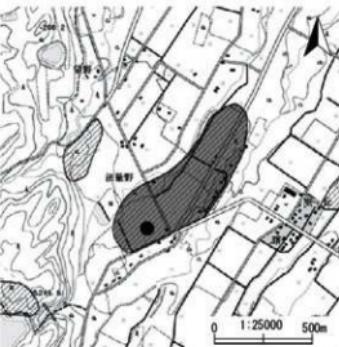
調査期日：平成28年9月5日(月)～6日(火)

望野Ⅱ遺跡は、JR東日本北上線藤根駅から南西に約5.7km、和賀川と夏油川に挟まれた丘陵地と平野の接する場所に立地する縄文時代の遺跡で、種別は散布地となっている。現地標高は約163mから165mである。現況は水田として利用されている。

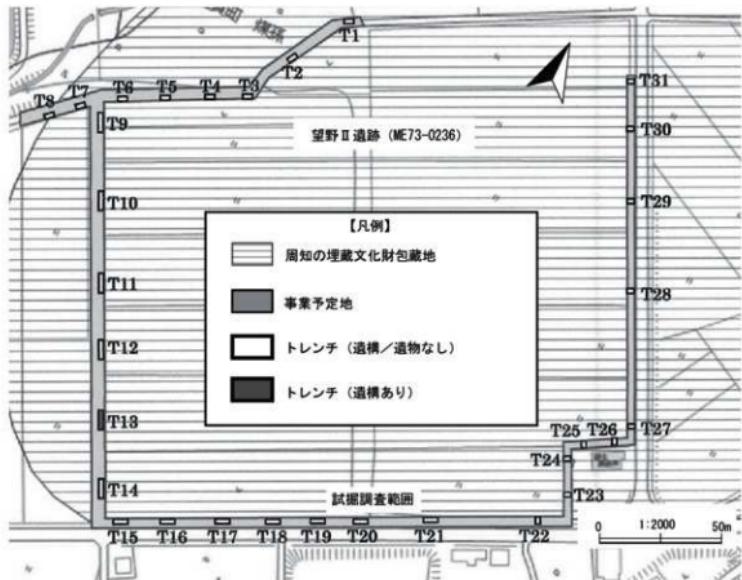
事業は、水田の農道部分に給水のためのパイプラインを埋設する経営体育成基盤事業で、埋設予定地に試掘トレンチを31箇所設定し、重機により造構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、事業区域の大部分は耕作地造成に伴う造成地原地形は失われていると考えられるが、畦畔上に設定したT13から長楕円形の落ち込みが確認された。遺物は出土していないものの、過去の調査より縄文時代の造構である可能性が高い。

(平成28年度、当課で発掘調査実施)



第52図 望野Ⅱ遺跡位置図



第53図 望野Ⅱ遺跡調査位置図

## 16 経営体育成基盤整備事業

## 旭ヶ丘遺跡 (ME73-0352)

所 在 地：北上市和賀町煤孫地区

事 業 者：県南広域振興局農政部北上農村整備センター

調査期日：平成28年9月7日(水)

旭ヶ丘遺跡は和賀川右岸の河岸段丘上に所在する縄文時代の遺跡である。事業予定地は旭ヶ丘遺跡の南西部斜面地及び低地と東端部の平坦面に位置する。現地標高は約149～152mである。

事業はは場整備事業の配管設置に係るもので、試掘トレントを遺跡及びその周辺に調査区全体で10箇所設定し、重機及び人力により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

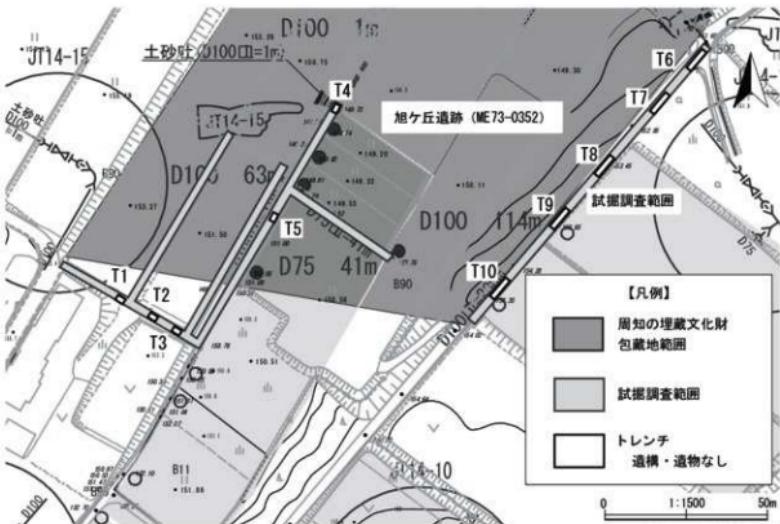
南西部の斜面地（T 1～3）では、T 1・2で I 層表土下に黒色土（II 層）を確認した。T 3 は水田形成時に土地改变を受けたものと考えられる。

低地部（T 4・5）では表土下に水のにじむ黒色土（II 層）が確認され、沢状の様相を示す堆積であった。東端部（T 6～10）ではいずれも表土下に II 層（やや明るい）を確認した。

遺構検出は黄褐色土（III 層）上面で行ったものの、いずれのトレントから遺構・遺物は発見されなかった。  
(工事着手可)



第54図 旭ヶ丘遺跡位置図



第55図 旭ヶ丘遺跡調査位置図

## 17 経営体育成基盤整備事業

### しんでいせき 新田遺跡 (ME74-0164)

所 在 地：北上市和賀町煤孫地区

事 業 者：県南広域振興局農政部北上農村整備センター

調査期日：平成28年9月7日(水)

新田遺跡は夏油川左岸の河岸段丘縁に所在する平安時代から中世の遺跡である。事業予定地は新田遺跡の西端に位置する。現地標高は約136~137mである。

事業はは場整備事業の配管設置に係るもので、試掘トレンチを遺跡及びその周辺に調査区全体で11箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

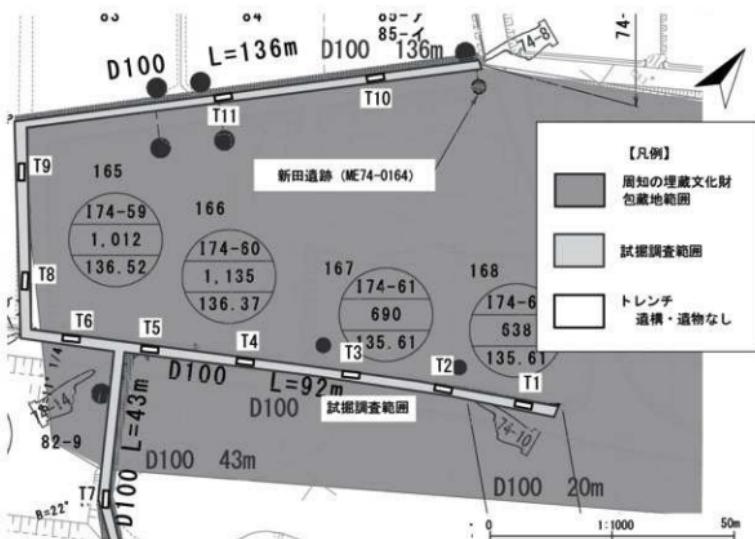
T 1 ~ 6、T 7 ~ 11ではいずれも表土（I層）及び盛土（II層）下に黒色土（III層）、黄褐色土（IV層）の堆積を確認した。IV層は一部グライ化しており、周辺の旧地形は低地の様相であったと考えられる。T 7は表土下にIV層が確認され大きく土地の改変を受けている。T 7周辺は他のトレンチ位置より標高が高い場所であったと考えられる。

遺構検出はIV層上面で行い、いずれのトレンチからも遺構・遺物は発見されなかった。

(工事着手可)



第56図 新田遺跡位置図



第57図 新田遺跡調査位置図

## 18 経営体育成基盤整備事業

おおたいせき  
太田遺跡 (MD18-0132)

所 在 地：和賀郡西和賀町沢内字太田・下巾地区  
事 業 者：県南広域振興局農政部北上農村整備センター

調査期日：平成28年10月18日(火)～21日(金)  
11月14日(月)～16日(水)、22日(火)

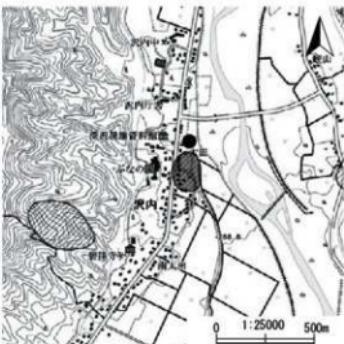
太田遺跡は、西和賀町沢内戸舎から南へ約250m、和賀川右岸の段丘面上に位置し、標高は約290mを測る。遺跡の種類は散布地であり、繩文から平安にかけての土器や石器、土師器等の遺物が出土している。現況は主に水田と畑地である。

調査は圃場整備に係るもので、調査対象地は、遺跡内及び遺跡の隣接地の水田と畑地である。遺跡が位置する段丘面上の水田・畑地と、和賀川側に一段（約8～10m）下がった段丘面上の水田がそれに該当する。委託者から、調査地一帯は昭和30年代後半から40年代前半にかけて圃場整備が行われているとの情報を得た。

調査区内に45箇所のトレンチ（T1～T50）を設定し、重機による掘削と人力による精査を行い、遺構や遺物の有無を確認した。その結果、全てのトレンチで当時の圃場整備による削平の跡が見られ、自然堆積層はほとんど残存していないことが判明した。

しかしながら、2箇所のトレンチ（T23・T40）で遺構を検出、4箇所のトレンチ（T1・T23・T39・T40）で遺物を確認した。T23では極一部が残存するに過ぎないが、炉の一部と考えられる礫と焼土を検出した。また、T40では性格不明の土坑が認められた。出土遺物はT23の出土遺物を除き、いずれも毫減の進んだ流れ込みと考えられる土器であり、破片4点である。試掘調査後、太田遺跡の範囲拡張を行った。

(工法変更により盛土保存)



第58図 太田遺跡位置図



第59図 太田遺跡調査位置図

## 19 一般国道397号小谷木橋地区地域連携道路整備

事業

### 杉の堂遺跡 (NE27-0100)

所在地：奥州市水沢区佐倉河字杉ノ堂地内

事業者：県南広域振興局土木部

調査期日：平成28年9月28日(水)

杉の堂遺跡はJR東日本東北本線水沢駅より南東に約1.7km、胆沢川の氾濫原に所在する縄文・弥生時代及び古代の複合遺跡である。

事業予定地は杉の堂遺跡南東の段丘線に位置し、現地標高は約38~42mである。今回の事業予定地には、昭和57年度に行われた範囲確認調査のC地区が含まれていると推定され、調査では縄文時代の遺構・遺物が確認されている（水沢市教育委員会1983）。

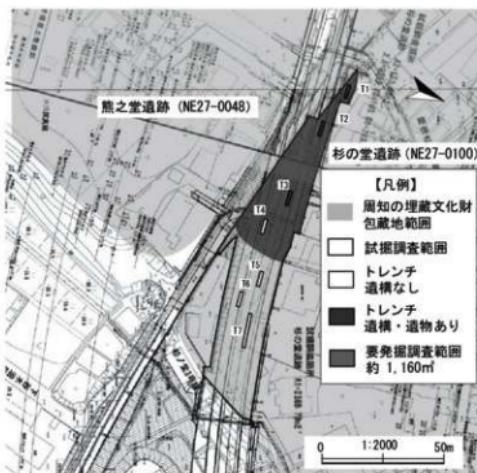
遺構の検出は明黄褐色土（V層）上面で行い、調査区西側のT1~3でそれぞれ黒褐色及び暗褐色土の落ち込みを確認した。出土遺物から縄文時代晩期（T3）及び古代（T1・2）の遺構と考えられる。

また、調査区西側で確認した黒褐色土（Ⅲ層）及び暗褐色土（Ⅳ層）は縄文時代の遺物包含層と推測される。古代の遺構はそのⅢ層を掘り込んで形成されており、遺構構築面が複数枚あることが考えられる。一方、調査区東側のT5~7からは遺構は見つかっていない。堆積層も表土（I層）下は造成土（II層）のみで、低地帯のために遺跡は形成されなかったと考えられる。

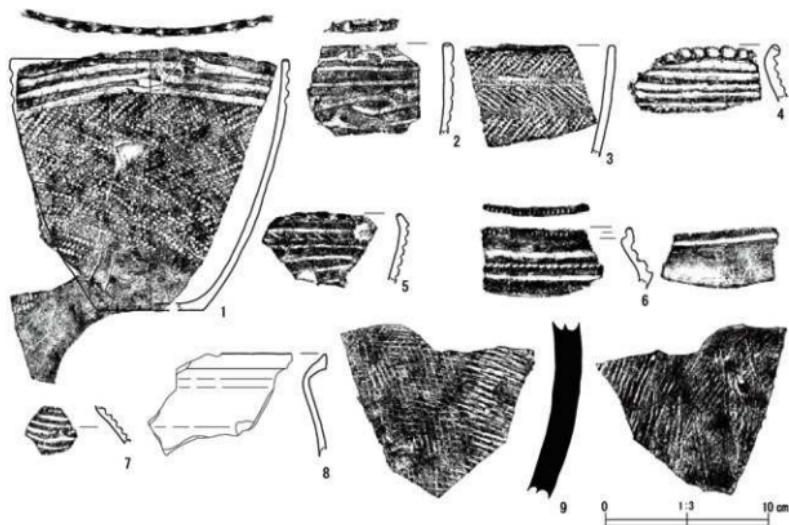
(平成29年度県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施)



第60図 杉の堂遺跡位置図



第61図 杉の堂遺跡調査位置図

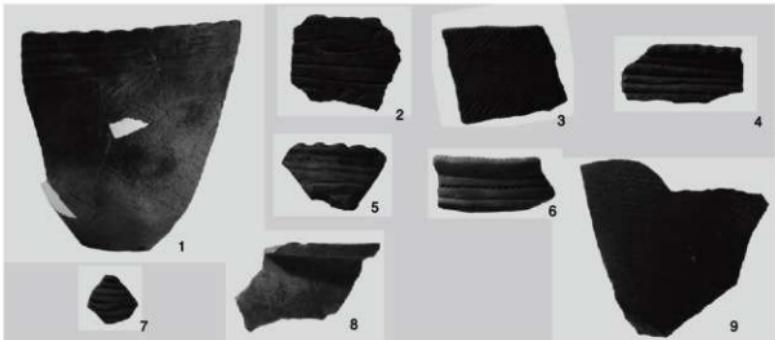


第62図 杉の堂遺跡出土遺物図

第5表 杉の堂遺跡出土遺物観察表

掘査番号	出土地點	層位	種別	岩種	部位	計測値 (cm・g)				特徴
						口径	器高	底部径	重量	
					幅	横	厚さ			
1 T3 SK02	覆土	織文土器	深鉢	口縁～底部	(170)	(155)	64	—	口唇削み、三叉文、横走沈線、LR・RL 横結節か?	
2 T3 SK02	覆土	織文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	口唇削み、三叉文、横走沈線	
3 T3 SK02	覆土	織文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	LR・RL 横(羽状)	
4 T3 SK02	覆土	織文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	口唇削み、横走沈線	
5 T3 SK02	覆土	織文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	口唇削み、横走沈線	
6 T3 SK02	覆土	織文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	口唇削み、内外面横走沈線	
7 T3 SK02	覆土	織文土器	深鉢	口縁部付近	—	—	—	—	沈線	
8 T3 SK02	覆土	土師器	甕	口縁部	—	—	—	—	内外面クロナデ	
9 T3 SK02	覆土	須恵器	甕	胴部	—	—	—	—	—	

計測値の〔 〕は推定値、( )は残存値を表す。



写真図版10 杉の堂遺跡出土遺物

## 20 一般国道107号梁川～川内地区地域連携道路

### 整備事業

梅平遺跡 (ME69-1001)

ふたわたりいせき

二渡遺跡 (ME69-0098)

所 在 地：奥州市江刺区梁川地内

事 業 者：県南広域振興局土木部

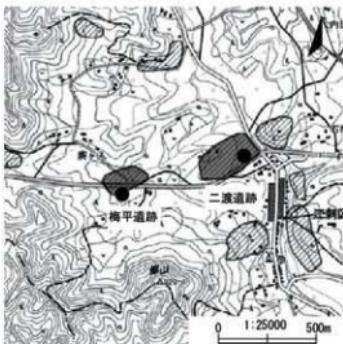
調査期日：平成28年9月13日(火)～14日(水)、

11月22日(火)

### 【梅平遺跡】

梅平遺跡は釜石自動車道江刺田瀬インターチェンジから西へ約1.8km、国道107号線沿いの中山間低地に立地する集落跡遺跡である。調査区域は梅平遺跡南端部にあたり、国道107号線と丘陵地に挟まれた標高195m前後の低地で、現況は西側が林地、東側が荒蕪地である。

調査の結果、いずれのトレンチも表土下はグライ化した水成堆積層であり、砂質土のため掘削直後から湧水がみられた。表土も泥質であり、調査区全体が氾濫原または旧河道の様相を呈している。T



第63図 梅平遺跡・二渡遺跡位置図



第64図 梅平遺跡調査位置図

7の地表下約50cm暗青灰色土中から土器細片1点を採取したが摩滅しており、他所からの流れ込みと考えられる。調査区は周囲よりも一段低くなった湿地状の土地で、遺跡が存在する可能性は低く、いずれのトレンチからも遺構は検出されなかった。

(工事着手可)

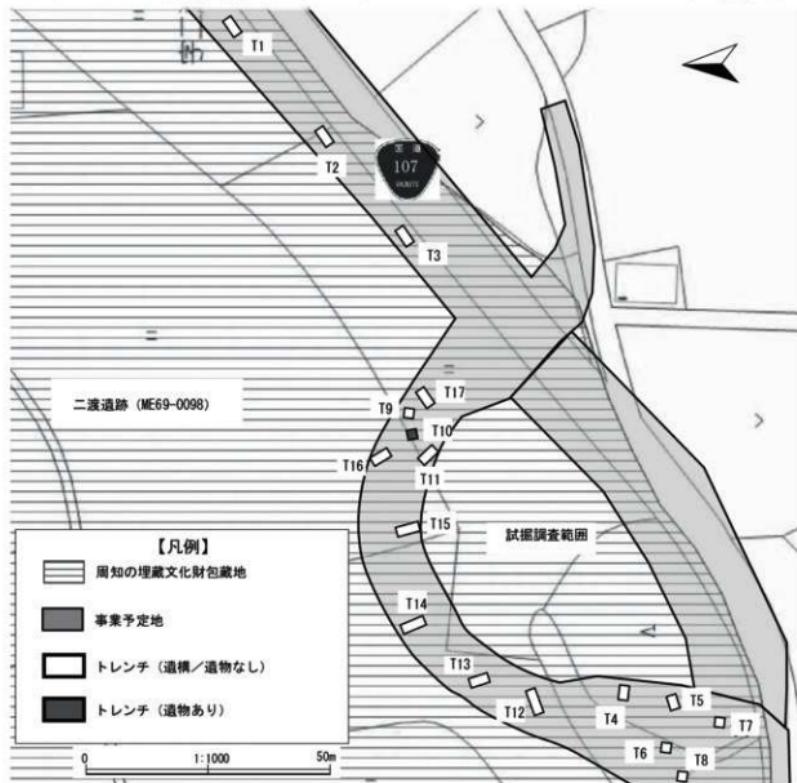
## 【二渡遺跡】

二渡遺跡は釜石自動車道江刺田瀬インターチェンジから西へ約1.3km、広瀬川右岸に形成された低位段丘面に立地する遺跡である。調査区域は国道107号線北側沿いの遺跡南縁部にあたり、現況は林地及び水田で標高約159mから約166mを測る。

調査の結果、調査区西側（T4～T8）は崩落石によって形成された地形であり、それ以外の全てのトレンチで圃場整備による削平・盛土の跡が見られ、自然堆積層はほとんど残存していないことが判明した。T10で遺物を確認したが、表土下からの出土で遺構に伴うものではなく、他所からの混じり込みもしくは流れ込みと考えられる。

調査区は、過去の農地整備等で大きく地形が改変されており、遺跡が存在する可能性は低く、いずれのトレンチからも遺構は検出されなかった。

(工事着手可)



第65図 二渡遺跡調査位置図

21 経営体育成基盤事業都鳥地区（2期及び3期地区）

うるしまちいせき  
漆町遺跡 (NE15-2187)

つつらいせき  
堤遺跡 (NE25-0226) 隣接地

所 在 地：奥州市胆沢区南都田字漆町地内

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査日：平成28年11月8日(火)

【漆町遺跡】

漆町遺跡は奥州市役所から西に約5.2kmの位置にあり、標高はおよそ87mを測る。平成23年度に実施された試掘調査により、遺構や遺物が検出され、盛土工法によって圃場整備された遺跡である。

事業は、既に圃場整備が終了している区域で湧水が発生したことにより、水漏れを防ぐ目的で防水シートを敷設するものである。事業区域に4箇所のトレンチ（T1～T4）を設定して調査を行った。北側に設置したトレンチ（T1・2）では、圃場整備による盛土は確認されず、黄褐色土上面で精査したが遺構・遺物は検出されなかった。検査面の状況から、すでに削平されている可能性が高い。南側のトレンチ（T3・4）では盛土が厚く堆積し、黄褐色土上面がグライ化した状況であった。漆町遺跡の南側段丘線にあたり、旧河道域と考えられる。遺構や遺物は検出できなかった。

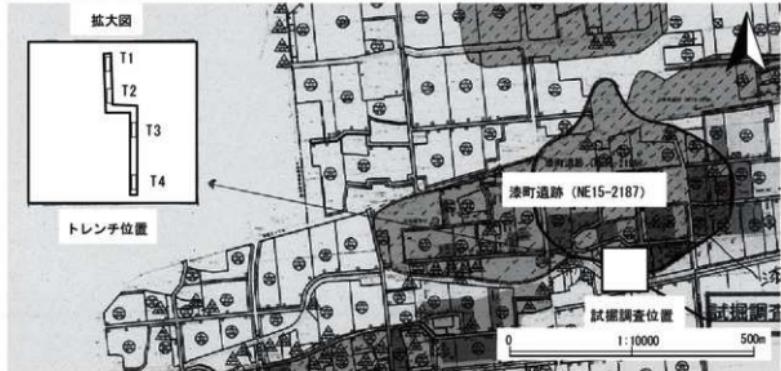
(工事着手可)

【堤遺跡隣接地】

堤遺跡は奥州市役所から西北西に約4.2kmの位置にあり、標高は78～80mを測る。今回の試掘調査は、その広がり（可能性あり）に隣接する区域で行われた。事業は既に圃場整備が終了している区域で湧水が発生したことにより、水漏れを防ぐ目的で防水シートを敷設するものである。

調査の結果、圃場整備による盛土が厚く堆積しており、工事に係る埋蔵文化財への影響はないものと判断できる。調査区域周辺は旧河道域になり、堤遺跡の範囲外になると考えられる。

(工事着手可)



第66図 漆町遺跡・堤遺跡位置図

22 道路環境改善事業（無電柱化）志羅山地区電線  
共同溝整備事業

はなだてにいせき  
**花立Ⅱ遺跡（NE76-1015）**

所 在 地：西磐井郡平泉町平泉字花立内

事 業 者：県南広域振興局土木部一関土木セン  
ター

調査日：平成28年12月8日（木）

花立Ⅱ遺跡は平泉町役場より北に約500mの場所に位置し、市街地に広範囲に広がる遺跡である。北上川右岸の河岸段丘上に立地する本遺跡周辺は平泉藤原氏時代の遺跡が濃密に分布し、南側に隣接する無量光院跡は中尊寺、毛越寺、観自在王院とともに世界遺産に登録されている。現地標高は29m前後である。

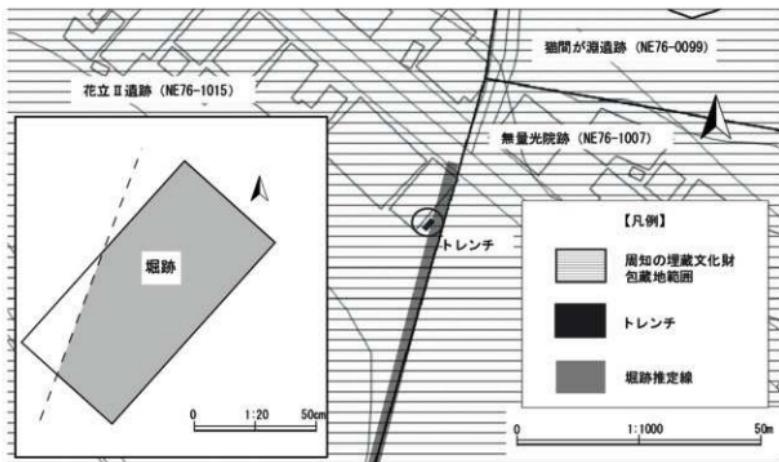
事業は電線地中化整備に係るもので、試掘トレンチを設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、浅黄橙色土（IV層）上面で褐灰色の落ち込みが確認された。遺物は検出されなかったものの、過去の調査成果から本遺跡東側に隣接する無量光院跡の外堀の北側肩部と推測される。基本土層とした表土（I層）下にぶい灰黃褐色（II層）及び褐灰色（III層）についても堀跡の埋土と考えられる。周辺には無量光院跡の土壘が明瞭に残存しており、堀跡はその土壘と平行していることからも同時期の遺構と考えたい。

また、花立Ⅱ遺跡範囲内から隣接する無量光院跡の堀跡と考えられる遺構が検出されたことから無量光院跡の範囲について今後検討する必要がある。  
(事業中止)



第68図 花立Ⅱ遺跡位置図



第69図 花立Ⅱ遺跡調査位置図

## 23 一般国道340号立丸峠地区道路改築事業

### しんでんいせき 新田遺跡 (LF98-2170)

所 在 地：宮古市小国第1地割地内

事 業 者：県南広域振興局土木部遠野土木センター

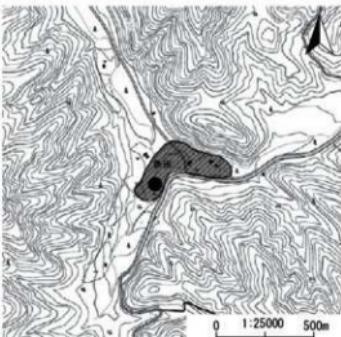
調査期日：平成28年5月30日(月)～31日(火)

新田遺跡は立丸峠頂上から北北東に約1.5kmの小国川及びその支流によって形成された山麓緩斜面地に所在する。現地標高は約562～570mである。

事業は道路整備事業に係る残土処置地とするもので、試掘トレンチを調査区全体で12箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、北側の高位地及び北東側の沢に近い箇所に設定したT3・T4では、表土（I層）下の人が堆積層（II層）の下から、地山ブロックを主体とする層や泥層・礫層による互層（III～V層）が、T6・T8～T10の一部からは旧河道と考えられる水成堆積層が確認された。現況は山林であるが、それ以前は耕作地としても利用されており、土地利用の変遷の中で旧地形は大きく改変され失われていると推測できる。また、いずれのトレンチからも遺構・遺物は発見されなかった。

(工事着手可)



第70図 新田遺跡位置図



第71図 新田遺跡調査位置図

## 24 森林管理道平波沢線開設工事

## 七滝Ⅲ遺跡 (KG32-1069) 隣接地

所在 地：下閉伊郡田野畠村七滝地内

事 業 者：沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター林務室

調査期日：平成29年1月19日(木)～20日(金)

事業予定地は田野畠村役場から南西に約3.5kmの、松前川に形成された河岸段丘面に位置している。七滝Ⅲ遺跡の東側に隣接し、標高は約233～248mを測る。現況は原野であるが、以前は田畠が営まれていた。

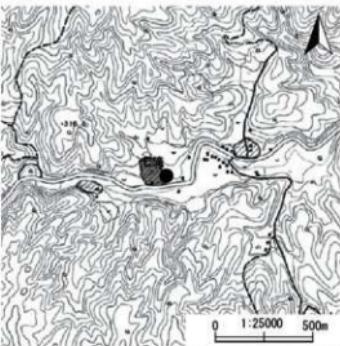
調査は林道開設工事に伴うもので、試掘トレンチを調査区全体で8箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた後に精査した。

調査の結果、T1・T4で陥し穴状の楕円形プラン各1基を、T8からは土器1片を確認した。隣接の遺跡やT8からの出土遺物より縄文時代の遺構と推測される。T8の黄褐色土層から検出した土器1片については、遺構も確認できず平場の縁辺にあたることから他所からの流れ込みと判断した。

なお、他のトレンチからは遺構・遺物は見つかっておらず、段々に平場が形成されている状況や表土直下がほぼ地山という土壌層位から調査区全体が削平を受けていると考えられる。

また、試掘調査後に七滝Ⅲ遺跡範囲の拡張を行った。

(平成30年度発掘調査予定)



第72図 七滝Ⅲ遺跡位置図



第73図 七滝Ⅲ遺跡隣接地調査位置図

## 25 農用地災害復旧関連区画整理事業

### まごしまわいせき 馬越沢遺跡 (LG83-0017)

所 在 地：下閉伊郡山田町豊間根第17地割地内  
事 業 者：沿岸広域振興局農林部宮古農林振興セ  
ンター

調査期日：平成28年4月13日(水)

調査地は、山田町役場から北西に約6km離れた、豊間根川上流の右岸に位置する。周囲には鉄滓を出土させる遺跡が多く、馬越沢遺跡も製鉄跡として岩手県遺跡台帳に登録されている。

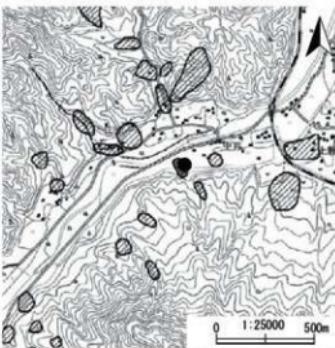
今回の調査地は平成27年度に試掘調査されたが、条件が悪く充分に把握できなかったため（平成28年2月3日付け教生第1663号）、再試掘調査を行ったものである。

トレンチを6本設定して調査を行ったが、全体的に盛土が厚く堆積しており、その下層には砂や砾が確認できた。盛土造成し田畠として使用される以前は、豊間根川の氾濫原となっており、小規模な河川も形成されていたと考えられる。包蔵地内T2やT3、T6では暗褐色土が確認できず、検出面の黄褐色土上面でも遺構は確認されず遺物も出土しなかった。現豊間根川に最も近いT5では、盛土標が厚く堆積し地表面まで確認できなかったが、遺構・遺物が検出できる地形ではないと判断した。

遺構が検出されたのは現水路に近い区域である。T1を設定した山側は旧河道から外れ、僅かに旧地形面が残存しており、精査の結果、黄褐色土上面で炭化物を顕著に含む円形のプランと焼土が確認された。

遺物は出土していないが製鉄に関連する遺構の可能性が高く、これらの遺構は北東向きの山麓下から緩斜面にかけて、形成されていると考えられる。

第74図 馬越沢遺跡位置図



第75図 馬越沢遺跡調査位置図

26 主要地方道大船渡広田陸前高田線広田地区地域  
連携道路整備事業

**可能性あり（谷地遺跡（NF88-1376））**

所在地：陸前高田市広田町谷地地区

事業者：沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

調査日：平成28年7月21日(木)～22日(金)

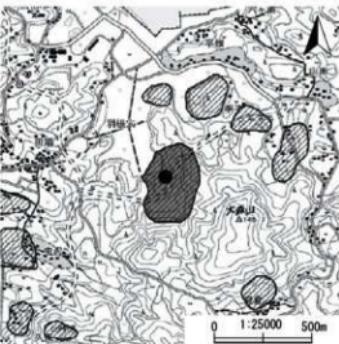
事業予定地は広田半島の丘陵山麓部にあたり、大野湾を北に望む斜面地に位置する。現地標高は約15～50mである。周知の埋蔵文化財包蔵地は所在していない。

事業は道路整備事業に係るもので、試掘トレンチを調査区全体で23箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

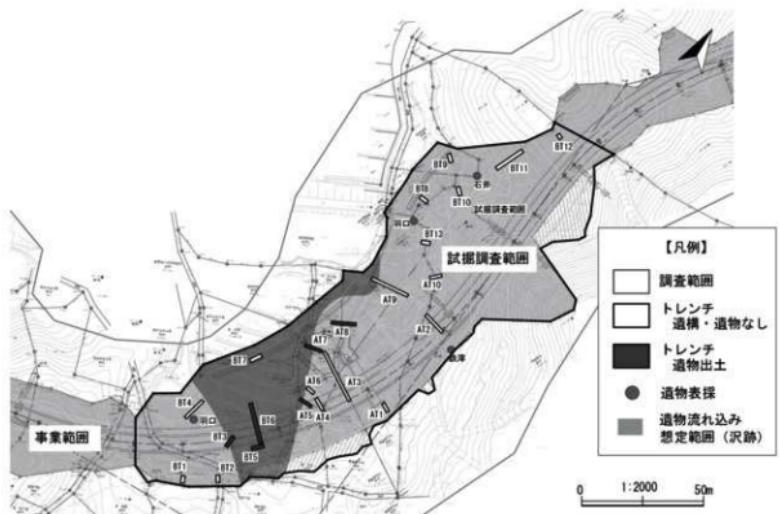
調査の結果、いずれのトレンチからも遺構は検出されなかった。遺物は表面採集のほか、AT5及び7、BT5・6など、土石流で埋没したと考えられる沢跡の黒色土から出土しており、いずれも磨耗していることから上流からの流れ込みと考えられる。

また、試掘調査後に谷地遺跡として遺跡の新規登録を行った。

(工事着手可)



第76図 谷地遺跡位置図



第77図 可能性あり（谷地遺跡）調査位置図

27 主要地方道大船渡広田陸前高田線船河原地区地  
域連携道路整備事業

内田貝塚 (NF69-0083)

所 在 地：大船渡市末崎町字内田地内

事 業 者：沿岸広域振興局土木部大船渡土木セン  
ター

調査日：平成28年6月22日(水)～24日(金)

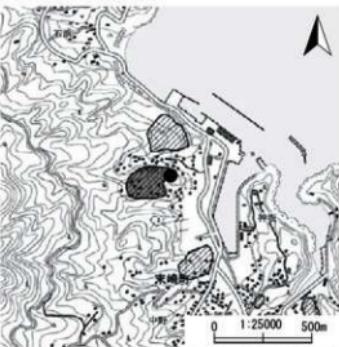
内田貝塚は大船渡湾の南に位置する北方向に開けた入り江（細浦漁港）を東に望む丘陵地緩斜面地に所在する縄文時代の貝塚遺跡である。事業予定地は内田貝塚の北側及び東側の緩斜面地に位置する。現地標高は約35～45mである。

事業は道路整備事業に係るもので、試掘トレンチを調査区全体で16箇所設定し、人力により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

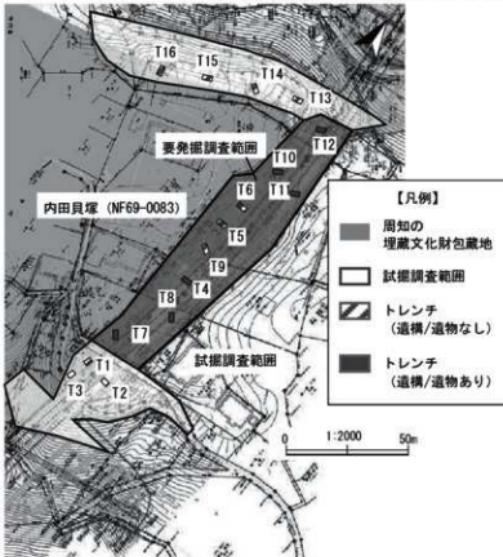
調査区南側のT4の黄褐色土上で暗褐色土の落ち込みを確認した。壁面と考えられる緩やかな立ち上がりを確認したこと及び出土遺物より縄文時代前期～中期の遺構と推測される。

調査区北側のT10～12では表土下の黒褐色土及びにぶい黄褐色土より遺物が出土しており、緩斜面地に形成された捨て場と推測される。なお、標高の高い地点のトレンチ（T1～3・5・6・9・13～16）からは遺構・遺物は見つかっていない。おそらくは削平を受けているものと考えられる。

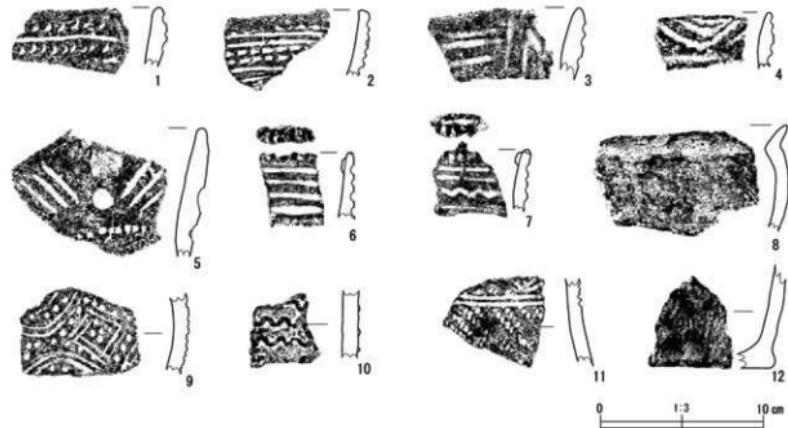
(平成29年度県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施)



第78図 内田貝塚位置図



第79図 内田貝塚調査位置図

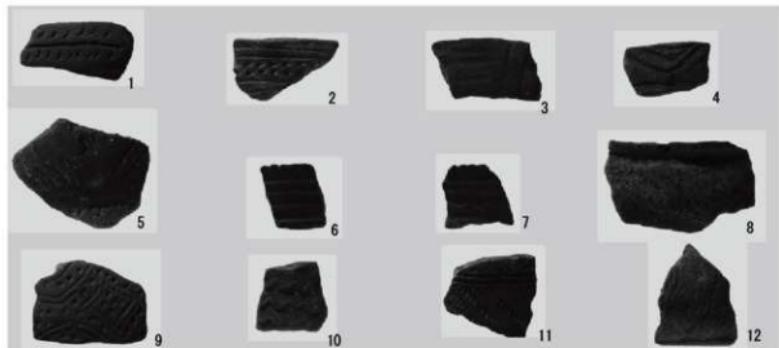


第80図 内田貝塚出土遺物図

第6表 内田貝塚出土遺物観察表

規範番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm・g)				特徴
						口径 縦	口径 横	底部径 縦	底部径 横	
1 T11	H		縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	横走沈線、爪形文
2 T11	-		縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	横走沈線、刺突文
3 T10	H		縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	沈線(縦・横)
4 T10	H		縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	沈線
5 T10	H		縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	沈線、押圧痕、刺突文
6 T10	H		縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	口唇刻み、口縁横走沈線、内面貼付文
7 T10	H		縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	口唇刻み、横走・波状沈線、内面貼付文
8 T10	H		縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	磨耗
9 T11	H		縄文土器	深鉢	胸部	-	-	-	-	沈線、竹管文
10 T4	-		縄文土器	深鉢	胸部	-	-	-	-	波状貼付文
11 T8	-		縄文土器	深鉢	胸部	-	-	-	-	撲糸文 RL 横、横走沈線、圓錐状沈線
12 T8	-		縄文土器	深鉢	底部	-	-	-	-	LR 横?、磨耗

計測値の〔 〕は推定値。( )が残存値を表す。



写真図版11 内田貝塚出土遺物

28 主要地方道大船渡広田陸前高田線船河原地区地  
域連携道路整備事業

みねぎしいせき  
**峯岸遺跡 (NF69-0063)**  
可能性あり 1

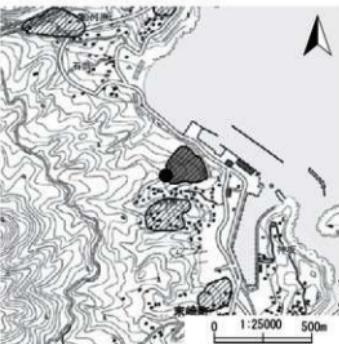
所 在 地：大船渡市末崎町字峯岸地内  
事 業 者：沿岸広域振興局土木部大船渡土木セン  
ター

調査日：平成28年6月27日(月)～29日(水)

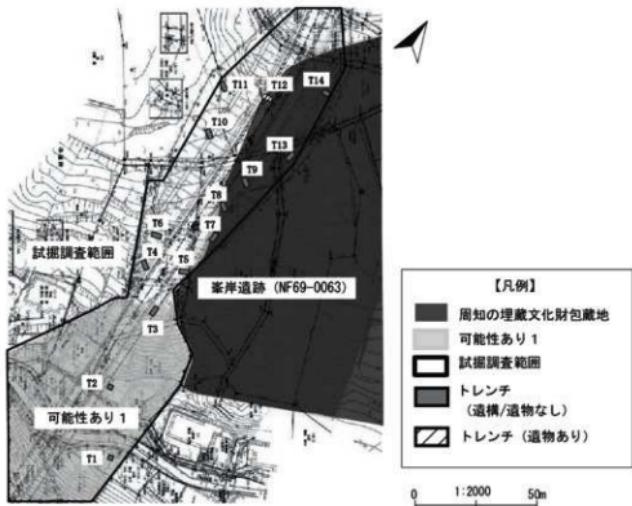
峯岸遺跡は細浦漁港を東に望む、標高約25m～49mの丘陵地緩斜面地に所在する縄文時代の遺跡である。平成25年度に実施された本遺跡東側の発掘調査では、東側微低地部分で多くの遺構が検出されている（岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第637集）。可能性あり1は、峯岸遺跡とその南に位置する内田貝塚に挟まれた標高約19m～30mの谷部分であり、峯岸遺跡の南側斜面に連続する立地であるため、一括して扱う。事業予定地は、可能性あり1及び峯岸遺跡西縁辺部に位置する。

可能性あり1のT1では南側急斜面からの崩落堆積を、T2では北側斜面を削った土を利用したと推測される厚い盛土を確認したのみで、遺構・遺物は見つかっていない。

峯岸遺跡の現況は山林であるが、斜面を造成して畑地とした複数の段(段差1m程度)もみられる。全体的に堆積が薄く、今調査区の大部分が大きな削平を受けているものと考えられる。T12から土器2片を採取したものの遺構を確認することはできなかった。  
(工事着手可)



第81図 峰岸遺跡位置図



第82図 峰岸遺跡・可能性あり1調査位置図

## 29 地域連携道路整備事業

なかむらかいづか  
中村貝塚 (NG21-1193)

所 在 地：大船渡市三陸町越喜来地内  
事 業 者：沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

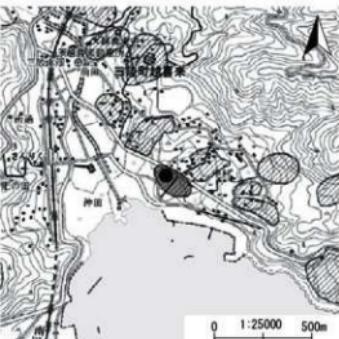
調査期日：平成28年5月24日(火)

中村貝塚は大船渡市役所から東北東に10km離れた三陸町越喜来地区に位置し、大船渡市役所三陸支所の南東側にある。現況は宅地もしくは田畠であったが、平成23年の東日本大震災による津波の被害で、現在は更地となっている。標高は10m前後で、南北側に向かって緩やかに傾斜する地形であるが、中心部は宅地化によって段状になっている。調査は、包蔵地中心部を北東一南西に貫く形となっている事業予定区域に、試掘トレンチ5箇所（T1～T5）を設定して行った。市道との接合区域（調査区の北東最上部）については、盛土が厚く堆積していることが判明したために調査不要とした。

調査の結果、すべてのトレンチにおいて、盛土（I層）が厚く堆積しており、その下に旧宅地の基礎礫、アスファルト舗装と碎石、田畠跡とおもわれる黒ボク土（II層）などを確認した。基本層序II層までが、現代に相当する層である。その下は、ほぼ黄褐色土（IV層）の地山面となるが、高位面（調査区北西部）に設定したT1と中位面のT3には、薄く暗褐色土（III層）があり、唯一の遺物包含層になり得る層と考え、精査したが遺構・遺物は検出されなかった。他のトレンチでは、IV層黄褐色土が削平されており、遺構や遺物は検出されなかった。

調査区全体が大きく改変され、遺物も採集できなかったが、最下位面に設定したT5から、II層面であるが貝層を確認した。現代の貝の捨場かもしれないが、地形改変の際に再堆積した古い貝とも考えられる。遺跡西側の緩斜面にその貝層が存在する可能性がある。

(工事着手可)



第83図 中村貝塚位置図



第84図 中村貝塚調査位置図

### 30 草地畜産基盤整備事業北三陸地区久慈団地

#### なりやてあと 成谷館跡 (JF46-1038)

所 在 地：久慈市山形町川井地区

事 業 者：公益社団法人岩手県農業公社

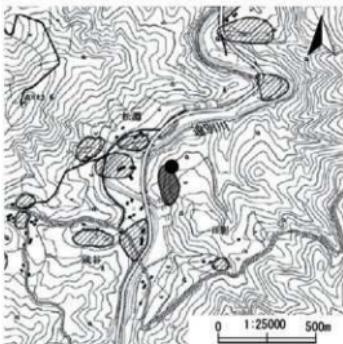
調査期日：平成28年7月26日(火)

成谷館跡は久慈市役所山形総合支所から東に約18kmの遠別川右岸の丘陵上に所在する中世の城館跡である。現地標高は約300m～320mを測る。

事業は、表土部分の若干の耕起を行った後、土壤改良剤を投入し牧草を播種する草地整備事業である。事業地全体がすでに牧草地として利用されており、大規模に造成され原地形をとどめていないことが伺える。よって今回の調査では、周知の埋蔵文化財包蔵地と重複する丘陵地北西端の微高地周辺に、試掘トレンチを4箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、表土の厚さは15cm～30cmで、その下から地山があらわれる状況で、縁部になるほどその傾向は顕著になってくる。いずれのトレンチからも遺構・遺物は検出されなかった。

(工事着手可)



第85図 成谷館跡位置図



第86図 成谷館跡調査位置図

## 31 農地耕作条件改善事業

しもばいせき  
**下羽場遺跡 (LE26-2160)**しもゆざわいせき  
**下湯沢遺跡 (LE26-2190)**

所在 地：盛岡市湯沢・羽場地内

事 業 者：公益社団法人岩手県農業公社

調査期日：平成28年10月31日(月)、11月1日(火)

## 【下羽場遺跡】

下羽場遺跡は盛岡市役所から南南西に約6kmの位置にあり、中央部を南北に東北自動車道が縦走する。北側で下湯沢遺跡が隣接し、標高は120m～125mを測る。

事業は、圃場整備で畦畔を外し、田を広げるもので、現表土部分を5cmから深いところでも15cm程度の掘削を行う軽微な整備となる。この区域は以前にも圃場整備が実施されており、全体的に平坦となっている。

調査では、掘削が及ぶ田の畦畔際にトレンチを設定して黄褐色土面まで下げ、遺構や遺物の確認を行った。基本層序はⅠ層耕作土(層厚15cm)、Ⅱ層盛土(層厚20～40cm)、Ⅲ層暗褐色土(層厚0～5cm・シルト)、Ⅳ層黄褐色土(粘土層・遺構検出面)である。4箇所のトレンチでの遺構検出面までの深さは、表土から40～50cm程で、明確な遺構や遺物は確認されなかった。検出面であるⅣ層の様相から、以前の圃場整備で全体的に削平されていると判断される。

(工事着手可)

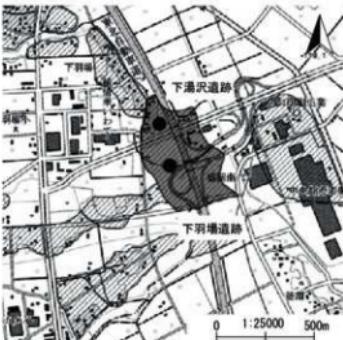
## 【下湯沢遺跡】

下湯沢遺跡は盛岡市役所から南南西に約6kmの位置にあり、中央部を南北に東北自動車道が縦走し、東西に県道が横走する。標高は120m～125mを測る。

事業は、圃場整備で畦畔を外し、田を広げるもので、現表土部分を5cmから深いところでも15cm程度の掘削を行う軽微な整備となる。この区域は以前にも圃場整備が実施されており、全体的に平坦となっている。

調査では、掘削が及ぶ田の畦畔際にトレンチを設定して黄褐色土面まで下げ、遺構や遺物の確認を行った。基本層序は下羽場遺跡と同様である。14箇所のトレンチでの遺構検出面までの深さは、表土から45～60cm程で、一部のトレンチから、暗渠と思われる溝(T6)や風倒木と考えられる痕跡(T14)が確認されたが、明確な遺構や遺物は確認されなかった。検出面であるⅣ層(黄褐色土)面の様相から、以前の圃場整備で全体的に削平されていると判断される。

(工事着手可)



第87図 下羽場遺跡・下湯沢遺跡位置図



第88図 下羽場遺跡・下湯沢遺跡調査位置図

## 32 農地耕作条件改善事業

刈屋野遺跡 (NF81-2171) 隣接地

おくたまきのさわいせき

奥玉北ノ沢遺跡 (NF81-2153)

はなぬきいせき

花貫 I 遺跡 (NF81-2193)

はなぬきいせき

花貫遺跡 (NF81-2173) 隣接地

めじりいせき

女聖遺跡 (NF81-2185) 隣接地

所 在 地：一関市千厩町字刈屋野地内

事 業 者：公益社団法人岩手県農業公社

調査期日：平成28年11月28日(月)～30(水)

試掘箇所は、JR大船渡線千厩駅から北に約3.1kmの位置にある。標高は112m前後である。地点1から4までの試掘調査区がある。

## 【地点1】

削平後水田造成しているようである。この周辺の水田は平成11年に当課の試掘調査の後、ほ場整備が行われている。水田耕作土が20cm程度あり、その下に40cm程度の水田造成土、その下は地山となっている。一段高い地形にある民家の下位にあり、もともと高い地形とは繋がっていなかったようである。7箇所のトレンチを設定したが遺構・遺物とも確認できなかった。

## 【地点2】

奥玉北ノ沢遺跡に含まれ、遺跡内を北東から南西に走る道路から約2m程下がっている。この周辺の水田は平成11年に当課の試掘調査の後、埋蔵文化財は確認されずほ場整備が行われている。水田耕作土が20cm程度あり、その下に30～60cm程度の水田造成土がある。大きく削平されていると思われ、その下の地山は砂質土でややグライ化している。5箇所のトレンチを設定したが遺構・遺物とも確認できなかった。

## 【地点3】

もともと低かった場所で厚い盛土で造成している。この周辺の水田は平成11年に当課の試掘調査の後、埋蔵文化財は確認されず、ほ場整備が行われている。水田耕作土が20cm程度あり、その下に1mを超える水田造成土、その下は地山となっている。現在の地形を見ると比較的高く、遺跡の立地としてよさそうに見えるが、本来は低地だったと考えられる。4箇所のトレンチを設定したが遺構・遺物とも確認できなかった。

## 【地点4】

花貫 I 遺跡と花貫遺跡及び女聖遺跡の隣接地である。通常でも水が湧きやすいという地元の人の話があった。4箇所のトレンチを設定した。水田耕作土が20cm程度あり、その下に20cm程度の水田造成土、その下は地山となっている。地山はグライ化した砂質土である。ほ場整備の際に大きく削平されたと考えられる。いずれのトレンチからも遺構・遺物とも確認できなかった。

(いずれも工事着手可)



第89図 奥玉北ノ沢遺跡ほか位置図



第90図 奥玉北ノ沢遺跡ほか調査位置図

## 33 東北自動車道滝沢南スマートインターチェンジ事業

たかやしきにいせき  
可能性あり（高屋敷II遺跡（KE95-1226））

所 在 地：滝沢市高屋敷平地内

事 業 者：東日本高速道路株式会社東北支社

盛岡管理事務所

調査期日：平成28年8月23日（火）～24日（水）

事業地は滝沢市役所より北東に約2.0km離れた、火山灰砂台地及び氾濫平野に位置する。現地標高は150～165m前後である。事業予定地に周知の埋蔵文化財包蔵地は所在しない。

事業はスマートインターチェンジ整備に係るもので、試掘トレーンチを調査区全体で22箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

堆積土は台地と低地で異なっており、台地では表土（I層）に耕作土（II層）、にぶい黄褐色土（IV層）、橙色土（バミス？）

（V層）、粘土質の黄褐色土（VI層）が堆積する。低地では表土下に湧水が著しい黒色土（III層）及びVI層が確認され、湿地帯の様相を示す堆積であった。

遺構検出はIV・VI層上面で行った。台地部のT3及びT10においてIV層上面で直径約3.0m前後の黒褐色の長楕円形の落ち込みが確認された。遺物は出土していないものの、過去の調査より縄文時代の遺構である可能性が高い。

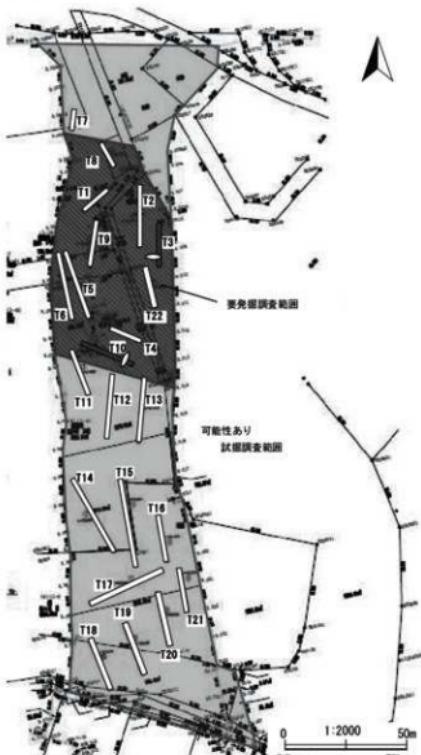
他のトレーンチからは遺構・遺物とも発見されなかった。T3及びT10周辺の台地上に遺構が分布しているものと考えられる。

試掘調査後に高屋敷II遺跡の範囲拡張を行った。

（平成28年度、当課で発掘調査実施）



第91図 高屋敷II遺跡位置図



第92図 可能性あり（高屋敷II遺跡）調査位置図



### III 調査一覧

#### 1 発掘調査一覧

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地	主な検出遺構・遺物	面積(m <sup>2</sup> )
1	平成28年7月11日～14日	復旧治山事業上平地区 復旧治山（ゼロ国債）工事	県北広域振興局農政部 二戸農林振興センター 林務室	下野尻Ⅱ遺跡	二戸郡 一戸町	陥し穴状遺構1基	60
2	平成28年10月3日～4日	経営体育城基盤整備事業	宮南広域振興局農政部 北上農村整備センター	望野Ⅱ遺跡	北上市	陥し穴状遺構1基	18
3	平成28年10月4日～7日	農用地災害復旧関連区 面整理事業	沿岸広域振興局農林部 宮古農林振興センター	馬越沢道路	下閉伊郡 山田町	土坑1基、焼土4箇所、埴設土壙1基、柱穴2箇	50
4	平成28年10月11日～20日	東北自動車道滝沢南北 スマートインターチェンジ事業	東日本高速道路株式会 社東北支社盛岡管理事 務所	大久保道路	滝沢市	陥し穴状遺構1基 土坑1基	144
5	平成28年10月11日～20日	東北自動車道滝沢南北 スマートインターチェンジ事業	東日本高速道路株式会 社東北支社盛岡管理事 務所	高屋敷Ⅱ遺跡	滝沢市	陥し穴状遺構3基	488

## 2 試掘調査一覧 (1)

No.	調査期日	事業名	事業者	道跡名	所在地	結果	記載No.
1	平成28年4月13日	農用地災害復旧開通区画整理事業	沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター	馬越沢道跡 (LG83-0017)	下閉伊郡山田町	発掘調査	25
2	平成28年4月14日	床上浸水対策特別緊急事業	盛岡広域振興局土木部	上矢次Ⅰ道跡 (LE46-0244)	紫波郡矢巾町	工事着手可 部調査未了	7
3	平成28年5月18日～20日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部開土木センター	梅木城跡 (OF03-0308) 築地	一関市	工事着手可	
4	平成28年5月24日	地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター	中村貝塚 (NG21-1193)	大船渡市	工事着手可	29
5	平成28年5月26日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	高木中船道跡 (ME36-0218)	花巻市	工事着手可	9
6	平成28年5月30日～31日	一般国道340号立丸峠地区道路改築事業	県南広域振興局土木部達野土木センター	新田道跡 (LF98-2170)	宮古市	工事着手可	23
7	平成28年6月1日～3日	主要地方道大船渡線三陸線赤崎地区連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター	尾久根山道跡 接続 可能性あり7 可能性あり8 可能性あり9	大船渡市	工事着手可 工事着手可 工事着手可 工事着手可	
8	平成28年6月23日	復旧治山事業上平地区復旧治山(ゼロクイ)工事	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター林務室	下野尻Ⅱ道跡 (JP50-1120)	二戸郡一戸町	発掘調査	2
9	平成28年6月28日	道路埋柵改善(交通安全)事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	清水屋敷道跡 (ME28-2294) 新丁道跡 (ME28-2296)	花巻市	工事着手可 工事着手可	10
10	平成28年6月22日～24日、 27日～29日	主要地方道大船渡広田勝前高田線河原地区地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター	内田貝塚 (NF69-0083) 基岸道跡 (NF69-0063)	大船渡市	発掘調査 工事着手可 工事着手可	27 28
11	平成28年7月21日～22日	主要地方道大船渡広田勝前高田線広田地区地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター	内田道跡 (NF88-1376)	勝前高田市	工事着手可	26
12	平成28年7月22日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	戸塚道跡 (ME46-1354)	北上市	工事着手可 一部調査未了	11
13	平成28年7月26日	草地畜糞基盤整備事業北三陸地区久慈郡 公益社団法人岩手県農業公社	公益社団法人岩手県農業公社	成谷館跡 (JF46-1038)	久慈市	工事着手可	30
14	平成28年8月2日～3日	一間差水地事業(磐井川堤防改修石塁地 区)	国土交通省東北地方整備局岩手河川道事務所	可燃性あり②	一関市	工事着手可	
15	平成28年8月23日～24日	東北自動車道浪津南スマートインター チェック事業	東日本高速道路株式会社 東北支社浜岡管理事務所	(高屋敷Ⅱ道跡) (KE95-1226)	浪津市	発掘調査	33
16	平成28年8月24日～25日	地域連携道路整備事業 一般国道396号 上宮守峠地区道路改築工事	県南広域振興局土木部達野土木センター	可燃性あり① 可燃性あり②	達野市	工事着手可 工事着手可	
17	平成28年9月5日～7日	経営体育成基盤整備事業	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	望野Ⅰ道跡 (ME73-0148) 望野Ⅱ道跡 (ME73-0236) 旭ヶ丘道跡 (ME73-0352) 新田道跡 (ME74-0164)	北上市 北上市 北上市 北上市	工事着手可 発掘調査 工事着手可 工事着手可	14 15 16 17
18	平成28年9月13日	県単交通安全施設整備事業	県南広域振興局土木部北上土木センター	志賀Ⅰ道跡 (ME54-2140)	北上市	工事着手可	13
19	平成28年9月28日	一般国道397号小谷木暮地区地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部	杉の堂道跡 (NE27-0100)	奥州市	発掘調査	19
20	平成28年10月6日	一間差水地事業(磐井無印改修 田村地区)	国土交通省東北地方整備局岩手河川道事務所	可燃性あり①	一関市	工事着手可	
21	平成28年10月11日～13日	一般国道4号水沢東バイパス事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川道事務所	可燃性あり① 可燃性あり② 垣ノ内Ⅰ道跡 (NE27-1047) 町原散策跡 (NE27-1029) 大学Ⅰ道跡 (NE27-0098) 大学Ⅱ道跡 (NE27-1018)	奥州市 奥州市 奥州市 奥州市 奥州市	工事着手可 工事着手可 工事着手可 発掘調査 工事着手可	1

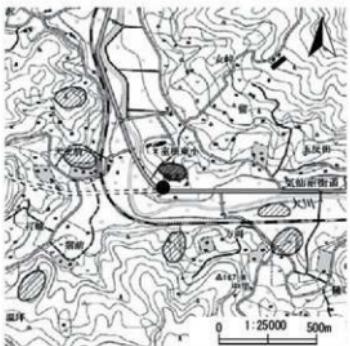
## 試掘調査一覧（2）

※アミセはⅡ章で記載したもの

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地	結果	記載No.
22	平成28年10月19日	農地整備作業（過作条件整備）	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村建設課	下戸向遺跡（JF10-1090）	二戸郡 一戸町	工事着手可	3
23	平成28年10月20日	畑地帯総合整備事業（狙い手育成型）	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村建設課	中村道路（JE89-0192）	二戸郡 一戸町	工事着手可	4
24	平成28年10月25日	地域連携道路整備事業 一般国道340号長岡寺地区道路改良工事	県北広域振興局土木部二戸土木センター	大道場遺跡（JF12-1179） 隣接地	九戸郡 九戸村	工事着手可	
25	平成28年10月28日	農村地域防災減災事業南陣場地区	県南広域振興局農政部農村整備室	南陣場遺跡（NE69-0133） 隣接地（可能性あり）	奥州市	工事着手可	
26	平成28年10月31日、11月1日	農地耕作条件改善事業	公益社団法人岩手県農業公社	下羽場遺跡（LE26-2160） 下沼沢遺跡（LE26-2190）	盛岡市	工事着手可	
27	平成28年11月2日	地域づくり緊急改善事業 主要地方道花巻北上線立花地区	県南広域振興局土木部北上土木センター	岩浜道路（ME66-0364） 隣接地 横町道路（ME66-1300） 隣接地	北上市	工事着手可	
28	平成28年10月18日～21日、 11月14日～16日、22日	経営体育成基盤整備事業	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	太田道路（MD18-0132）	和賀郡 西和賀町	要協議→工法変更	18
29	平成28年9月13日～14日、 11月22日	一般国道107号深川～川内地区地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部	梅平遺跡（ME69-1001） 二戸道路（ME69-0098）	奥州市	工事着手可	20
30	平成28年11月8日	経営体育成基盤事業都島地区（2期及び3期延区）	県南広域振興局農政部農村整備室	津町道路（NE15-2187） 堤遺跡（NE25-0226）隣接地	奥州市	工事着手可	21
31	平成28年11月14日～22日	一般国道磐石海岸線末崎磐石地区地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター	可能性あり⑤ 可能性あり⑥ 可能性あり⑦	大船渡市	工事着手可 工事着手可 工事着手可	
32	平成28年11月28日～30日	農地耕作条件改善事業	公益社団法人岩手県農業公社	刈屋野遺跡（NF81-2171）隣接地、奥玉北／沢遺跡（NF81-2153）、花貫1遺跡（NF81-2182）、花貫2遺跡（NF81-2173）、女型塚遺跡（NF81-2185）隣接地	一関市	工事着手可	32
33	平成28年12月1日～2日	畑地帯総合整備事業（狙い手育成型） 男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室	佐々木船跡（JE99-1237） 上平1遺跡（IE99-1276） 隣接地	二戸市	工事着手可	5
34	平成28年12月6日	農村地域防災減災事業	県南広域振興局農政部農村整備室	南陣場遺跡（NE66-0133） 隣接地	奥州市	工事着手可	
35	平成28年12月8日	道路環境改善事業（無電柱化）志羅山地区電纜共同溝整備事業	県南広域振興局土木部一戸土木センター	花立II遺跡（NE76-1015）	西磐井郡 平泉町	事業中止	22
36	平成28年11月24日～25日、 12月12日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	耳取I遺跡（ME60-0065） 耳取II遺跡（MD68-2398）	和賀郡 西和賀町	発掘調査 工事着手可	8
37	平成28年12月13日	葡萄沢地区予防治山工事	県南広域振興局農政部花巻農林振興センター	明道沢遺跡（LE99-1245）	花巻市	工事着手可	12
38	平成28年12月19日	畑地帯総合整備事業（狙い手育成型）	県北広域振興局農政部二戸農林センター農村整備室	上里遺跡群（JB09-1273）	二戸市	工事着手可	6
39	平成29年1月19日～20日	森林管理道平波沢線開設工事	沿岸広域振興局農林部古井農林振興センター林務室	七瀬三遺跡（KG32-1069） 隣接地	下閉伊郡 田野畠村	発掘調査	24
40	平成29年1月26日	警察施設災害復旧事業（釜石警察署等庁舎改築工事）	岩手県警察本部警務部会計課	中来木遺跡（MG62-2077） 隣接地	釜石市	工事着手可	
41	平成29年2月8日～10日	経営体育成基盤整備事業	県南広域振興局農政部一戸農村整備センター	可能性あり	一関市	工事着手可	

試掘調査一覧（市町村支援）

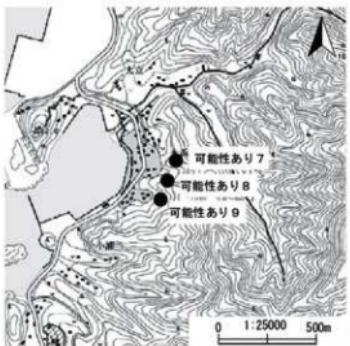
No.	調査期日	事業名	市町村	道跡名	所在地	結果
42	平成28年5月24日	黒崎地区村道拡幅工事	普代村	下村道路 (JG93-2158) 及び隣接地	下閉伊郡 普代村	発掘調査
43	平成28年8月31日、9月1日	葛巻ウインドファームプロジェクト仮設作業用敷地の造成		下村1道跡 (JG93-2147) 及び隣接地		工事着手可
44	平成28年9月6日	農業用機械格納庫建築工事	田野畠村	裏田道路 (KF04-0090)	岩手郡 葛巻町	発掘調査
45	平成28年10月31日	住宅新築工事		鳥越道跡 (KG33-1089)	下閉伊郡 田野畠村	工事着手可
				浜岩泉1道路 (KG43-0036)	下閉伊郡 田野畠村	工事着手可



3. 梅木城跡隣接地



7. 尾久根山遺跡隣接地



7. 可能性あり⑦～9



14. 可能性あり②

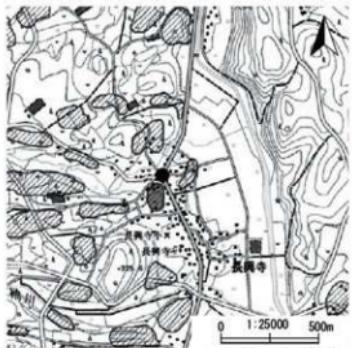


16. 可能性あり①・②

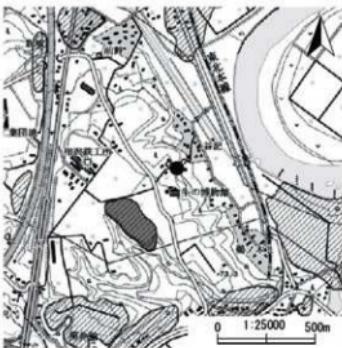


20. 可能性あり①

第93図 試掘調査位置図一覧（1）



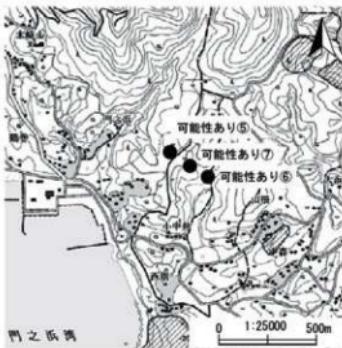
24. 大道端遺跡隣接地



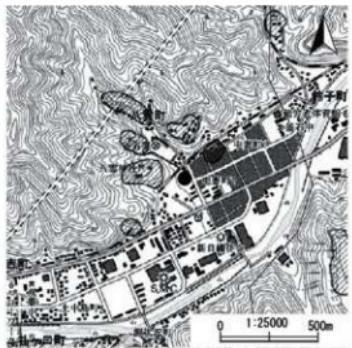
25・34. 南陣場遺跡隣接地（可能性あり）



27. 岩渓遺跡・横町遺跡隣接地



31. 可能性あり⑤～⑦



40. 中妻宝町遺跡隣接地



41. 可能性あり

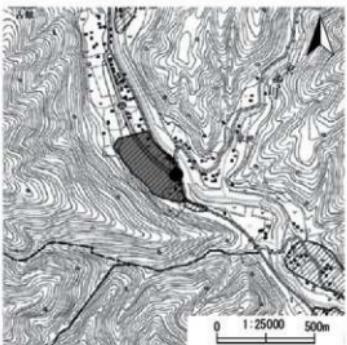
第94図 試掘調査位置図一覧（2）

### 3 工事立会一覧

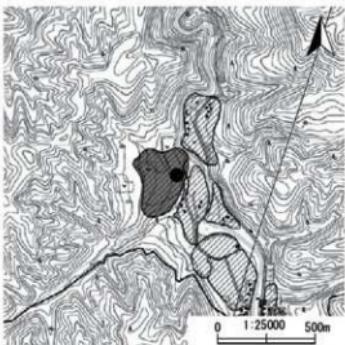
No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地	結果
1	平成28年5月19日	一般国道340号と井内地区道路改良事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	黄帝道路・(LF19-2060)	宮古市	影響なし
2	平成28年6月20日、23日	復旧治山事業上平地区復旧治山(ゼロ国債)工事	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター・林務室	下野尻Ⅱ道路・(JF50-1120)	二戸郡 一戸町	影響なし
3	平成28年6月21日	県治山事業石畳地区恩平治山(施設災害復旧・施設維持補修工事)工事	県南広域振興局農政部一戸農林振興センター	葉山船跡・(OE38-1328)	一戸市	影響なし
4	平成28年7月6日	主要地方道重茂平島線の平～蝦内地区地域整備道路整備事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	蝦内Ⅲ道路・(LG44-2290)	宮古市	影響なし
5	平成28年7月27日	ため池等整備事業大川日地区第6号工事	県北広域振興局農政部農村整備室	外里道路・(JF38-0255)	久慈市	影響なし
6	平成28年8月4日	道路環境改善事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	貝の酒I道路・(ME07-0167)	花巻市	影響なし
7	平成28年8月22日	漁港災害復旧事業広田漁港災害復旧(23災堤522号防潮堤その4)工事	沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター	中沢浜貝塚・(NF88-1298)	陸前高田市	影響なし
8	平成28年8月23日	子飼沢地区ボーリングコア倉庫解体工事	沿岸広域振興局大船渡土木センター・住田整備事務所	落合Ⅱ道路・(MF13-1146)	気仙郡 住田町	影響なし
9	平成28年9月15日	蓼科ダム建設事業蓼科ダム機能補償林道根田川岸工事	盛岡広域振興局土木部蓼科ダム建設事務所	アスノ沢道路・(LE29-2239)	盛岡市	影響なし
10	平成28年9月15日	活力創出整備事業一般国道107号日高幹線断面補強強化工事	県南広域振興局土木部北上土木センター	船V道路・(ME66-1228)	北上市	影響なし
11	平成28年10月4日	急傾斜崩壊対策事業八幡館地区急傾斜地崩壊対策工事	県北広域振興局土木部二戸土木センター所	淨法寺城跡・(JE36-0382)	二戸市	影響なし
12	平成28年10月20日	畑地の総合整備事業(担い手育成型)東奥州市山地區第45号工事	県北広域振興局農政部二戸農村整備室	桔木Ⅱ道路・(JF89-1363)	二戸郡 一戸町	影響なし
13	平成28年10月26日	急傾斜地崩壊対策事業八幡館地区急傾斜地崩壊対策工事	県北広域振興局土木部二戸土木センター	淨法寺城跡・(JE36-0382)	二戸市	影響なし
14	平成28年10月27日	地域整備道路整備事業一般国道340号業山～忠森地区	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター	藏王(蛇王)洞穴道路・(MF96-2121) 隣接地	気仙郡 住田町	影響なし
15	平成28年11月4日	貯糞防漏事業沼田の沢(2)筋見地区砂防壁等の工事	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	沢川日道路・(KF26-2084)	下閉伊郡 岩泉町	影響なし
16	平成28年11月8日	集落整備整備事業(地域用水型)荒東新堰地区第12号工事	盛岡広域振興局農政部農村整備室	新堰堤道路・(LE15-2359)	盛岡市	影響なし
17	平成28年11月18日	国営和賀中央農業水利事業上原幹線用水路改修工事	東北農政局と賀中央農業水利事業所	鰐川道路・(ME53-1066) 鰐川船跡・(ME53-1058)	北上市	影響なし
18	平成28年11月21日	治水施設整備事業大白沢川改修工事北伝法寺工区	盛岡広域振興局土木部	雄山道路・(LE46-2159)	紫波郡 矢巾町	影響なし
19	平成28年11月22日	都市計画道路事業都市計画道路荒瀬上田園橋川谷織架替工事	県北広域振興局土木部二戸土木センター	三ノ丸道路・(JF00-0053)	二戸市	影響なし
20	平成28年12月9日	国営和賀中央農業水利事業中央幹線放水路改修工事	東北農政局と賀中央農業水利事業所	本宿道路・(ME65-0271)	北上市	影響なし
21	平成28年12月14日	地域整備道路整備事業主要地方道重茂平島線石浜地区道路改良整備工事	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	石浜Ⅱ道路・(LG75-1227)	宮古市	影響なし
22	平成29年1月11日	農村対策対策整備事業他田南地区第1号工事	盛岡広域振興局農政部農村整備室	藏王Ⅰ道路・(LE57-0071)	紫波郡 矢巾町	影響なし
23	平成29年1月17日	国営和賀中央農業水利事業中央幹線放水路改修工事	東北農政局と賀中央農業水利事業所	本宿道路・(ME65-0169) 上原木道路・(ME65-0241)	北上市	影響なし
24	平成29年1月25日	農用地災害復旧開闊地区整理事業都地区(津軽石・赤前工区)	沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター	赤前Ⅰ牛子沢道路・(LG54-1072)	宮古市	影響なし
25	平成29年2月1日、2月6日～8日	道路環境改善事業(無電柱化)志羅山地区電線共同清整事業	県南広域振興局土木部一戸土木センター	御羅之洞所道路・(NE76-1029)	西磐井郡 平泉町	影響なし
26	平成29年3月23日	農用地災害復旧開闊地区整理事業宮古地区(津軽石・赤前工区)	沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター	赤前Ⅱ道路・(LG54-1025) 隣接地	宮古市	影響なし
27	平成29年3月23日	主用地方道大船渡庄田前南高田線河原地区地域整備道路整備事業	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター	内田貝塚・(NF69-0083)	大船渡市	影響なし

**工事立会一覧（市町村支援）**

No.	調査期日	事業名	市町村	道跡名	所在地	結果
28	平成28年5月11日	村道若狭と野線側溝改修工事	田野畠村	菅原中山道跡 (KG22-2354)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
29	平成28年6月8日～10日	村道大芦線側溝改修工事	田野畠村	浜岩泉Ⅱ道跡 (KG43-0016)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
30	平成28年6月8日～10日	平井賀漁港地区水産取扱用水施設送排水管及び排水池築造工事	田野畠村	平波沢Ⅰ道跡 (KG22-1243)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
31	平成28年6月8日～10日	鳥越漁港地区水産取扱用水施設第4水源導水施設新設工事	田野畠村	浜岩泉Ⅰ道跡 (KG43-0006) 浜岩泉Ⅱ道跡 (KG43-0016)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
32	平成28年6月8日～10日	超高速プロードバンド基盤整備事業	田野畠村	鍋山道跡 (KG42-1291)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				年昌部Ⅱ道跡 (KG42-2179)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				真木沢Ⅰ道跡 (KG43-1270)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				大芦Ⅳ道跡 (KG33-2226)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				北山山王沢道跡 (KG03-2217)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				真木沢Ⅰ道跡 (KG33-2332)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				切牛Ⅰ道跡 (KG33-2320)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				浜岩泉Ⅵ道跡 (KG33-1030)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				浜岩泉Ⅴ道跡 (KG33-2044)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				南大芦Ⅱ道跡 (KG43-0066)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
33	平成28年6月29日	超高速プロードバンド基盤整備事業	田野畠村	田代イクアエ沢道跡 (KG10-1378)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				沼袋道跡 (KG21-0127)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				鰐夷森道跡 (KG21-1033)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				子木地道跡 (KG21-0099)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				鉄山道跡 (KG31-1391)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				寺地道跡 (KG31-2353)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
				菅原Ⅰ道跡 (KG22-2354)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
34	平成28年8月29日	一般住宅新築工事	西和賀町	和野Ⅰ道跡 (KG23-1047)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
35	平成28年9月28日	村道大芦切牛線道路改工事及び防水大水槽埋設工事	田野畠村	大芦Ⅱ道跡 (KG33-2078) 及び鉄山道跡 (KG31-1391)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
36	平成28年10月19日	電柱移設工事（東北電力・テレビ共同受信）	田野畠村	大芦Ⅱ道跡 (KG33-2078)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし
37	平成28年11月29日	田野畠村牧課児童クラブ建設工事	田野畠村	平波沢Ⅰ道跡 (KG22-1243)	下閉伊郡 田野畠村	影響なし



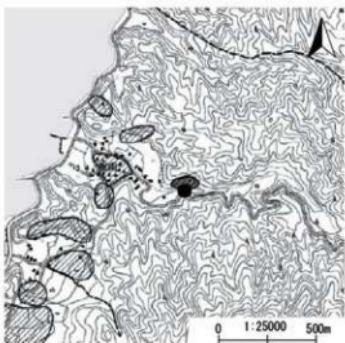
1. 袋帯遺跡



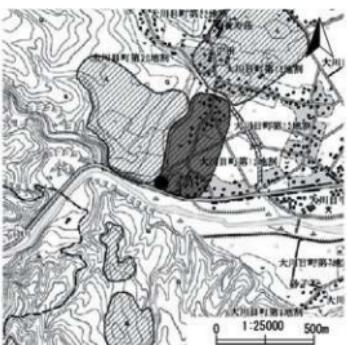
2. 下野尻II遺跡



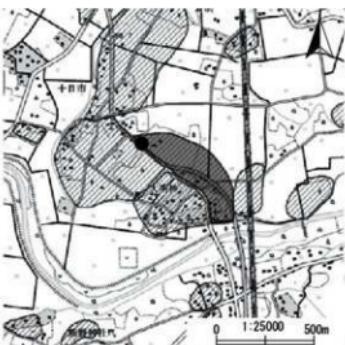
3. 葉山館跡



4. 塙内III遺跡

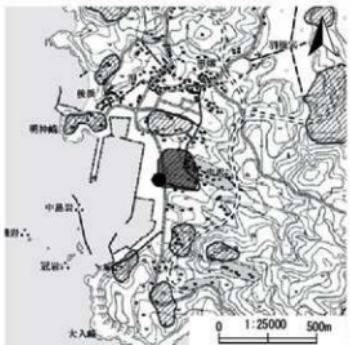


5. 外里遺跡

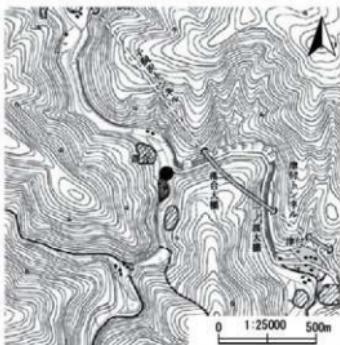


6. 貝の源I遺跡

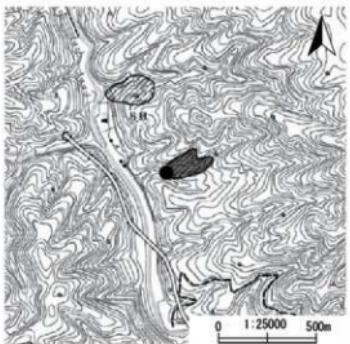
第95図 工事立会位置図一覧（1）



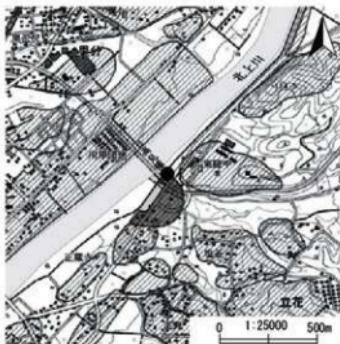
7. 中沢貝塚



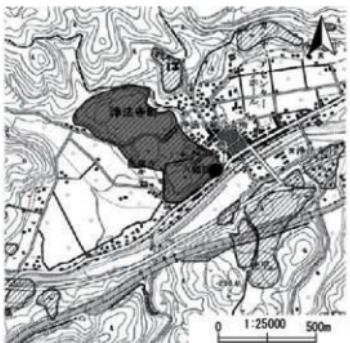
8. 落合II遺跡



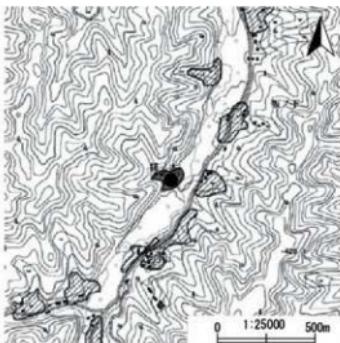
9. ブスノ沢遺跡



10. 館IV遺跡

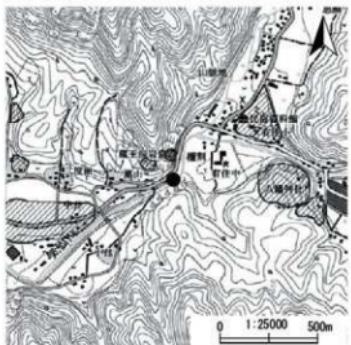


11・13. 浄法寺城跡

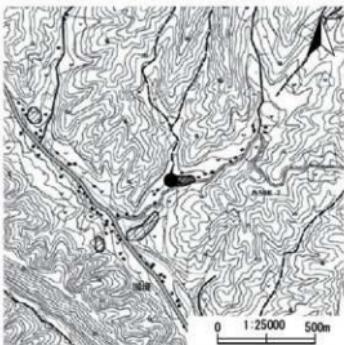


12. 杣ノ木II遺跡

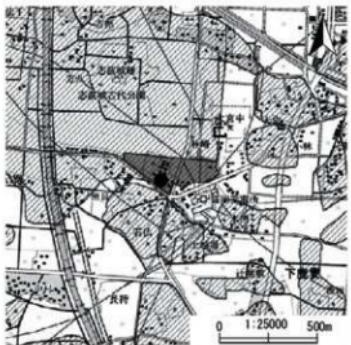
#### 第96図 工事立会位置図一覧（2）



14. 藏王（蛇王）洞穴遺跡隣接地



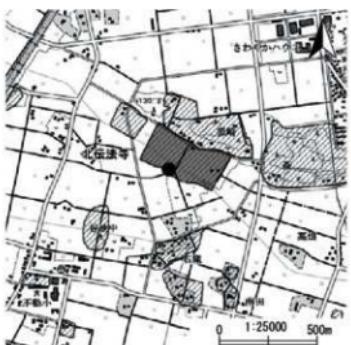
15. 沢川目遺跡



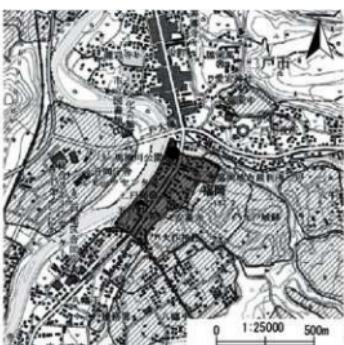
16. 新堀端遺跡



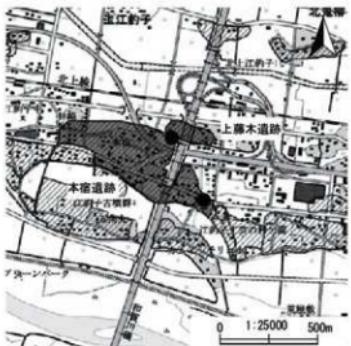
17. 鮎川遺跡・鮎川館跡



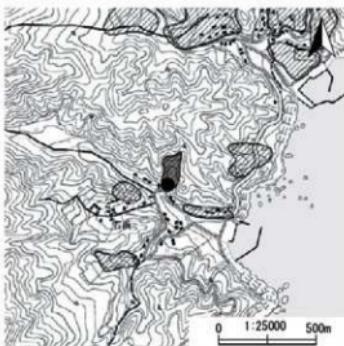
18. 煙山遺跡



19. 三ノ丸遺跡



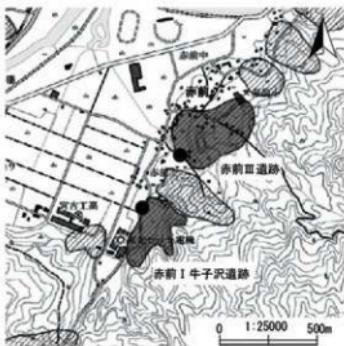
20・23. 本宿遺跡・上藤木遺跡



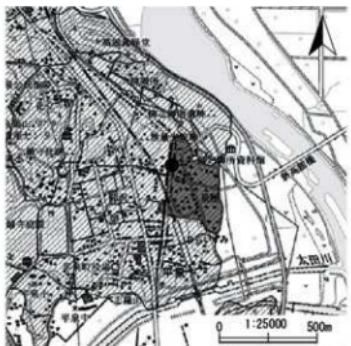
21. 石浜Ⅱ遺跡



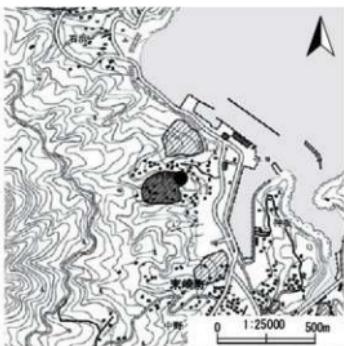
22. 飯島Ⅰ遺跡



24・26. 赤前Ⅲ遺跡・赤前Ⅰ牛子沢遺跡



25. 伽羅之御所遺跡



27. 内田貝塚

#### 第98図 工事立会位置図一覧 (4)

#### 4 分布調査一覧（1）

1 貢地整備事業（経営体育成型）西原沢地区							昭南広域振興局農政部・閑農村整備センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	NE95-2273	中鳥道路				一関市萩生地内	平成28年4月25日～26日、5月10日	要試掘調査
2	NE95-2285	天皇塚道路						
3	NE-05-2281	谷起鳥道路						
4	NE95-2076	山田道路						
2 貢地整備事業（経営体育成型）弘沢地区							昭南広域振興局農政部・閑農村整備センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	NF80-2161	兵平道路				一関市千厩町替清水地内	平成28年4月25日～26日、5月10日	要試掘調査 工事着手可 工事着手可
2	NF80-2129	弘坂城道路						
3	NF80-2251	古館道路						
3 守の沢地区駒单治山（崩壊地復旧）工事							沿岸広域振興局農林部	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり				上閉伊郡大槌町金沢宇寺の沢地内	平成28年5月10日	工事着手可
4 水無林道新設工事							岩手南部森林管理署	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり				和賀西和賀町洪沢内具沢字長崎田有林1104林班1小字外	平成28年5月11日	工事着手可
5 地域連携道路整備事業 一般区域340号 畠山～寒森地区							沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	MF96-2116	山脈地道路	縦文			気仙郡田町上有住字畠山地内～住田町上有住字寒森地内	平成28年6月14日	要試掘調査
6 总懸軒地崩壊対策事業 盛岡市桜山地区							盛岡広域振興局土木部	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	LE07-2143	獅子が原道跡開闢地	中近世			城船路・寺院跡	盛岡市桜山地内	平成28年6月15日
7 森林管理道平波沢親線開設工事							沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター・林務室	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	KG32-1069	七浦三道跡	縦文			数寄地	下閉伊郡田野畠村七浦地内	平成28年6月16日
8 道路環境改善事業 主要地方道二戸田子綫小平地区歩道設置工事							郡北広域振興局土木部二戸土木センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	HE98-1271	門松道路	縦文		敷石地	二戸市上斗米字小平地内	平成28年6月7日	要試掘調査 工事着手可 要試掘調査
2	HE98-2103	田中船跡	中世		城船			
3		可能性あり						
9 都市計画道路1.野西法船高善寺地区街路整備							郡北広域振興局土木部二戸土木センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	JF20-0050	野田Ⅱ道跡及び隣接地	縦文、奈良、平安			二戸郡一戸町高善寺地内	平成28年7月14日	要試掘調査
10 駐車交通安全施設整備事業 一般県道後藤野野中親藤根地区							昭南広域振興局土木部北上土木センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	ME54-2140	志賀Ⅰ道跡	平安			北上市和賀町藤根地区	平成28年7月15日	要試掘調査

## 分布調査一覧（2）

11 地域づくり緊急改善事業 未実施地方花巻北上・鏡立花地区							岩手広域振興局土木部北上土木センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	ME66-0364	石浜道路	縄文		散布地	北上市立花地内	平成28年7月15日	要工事立会
2	ME66-1300	横町道路	縄文・奈良・平安・中世		集落跡			要工事立会
3	ME66-1300、ME66-0364	横町道路と石浜道路接続地可能性あり						要工事立会
12 農村地域防災減災事業 北照井坂地区							岩手広域振興局土木部北上土木センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり				一関市麻糸町山口地内	平成28年7月20日	工事着手可
13 中山間地域総合整備事業 古野々地区							岩手広域振興局農政一部・農間村整備センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	OE03-1258	鶴倉館跡				一関市萩原八森地内	平成28年7月20日	要試掘調査
14 農村地域防災減災事業鮎鮎井地区							岩手広域振興局農政部農村整備室	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	NE47-1320	白石沢道路				奥州市江刺区米原及び玉里地内	平成28年7月28日	工事着手可
15 農業農村整備事業							岩手広域振興局農政部北上農村整備センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり①				花巻市薄口地内	平成28年8月3日	要試掘調査
2		可能性あり②						
3		可能性あり③						
	ME14-0093	日崩坂道路	縄文		集落跡			
16 火害帶総合整備事業(想い手育成型)							県北広域振興局農政部二戸農林振興センター・豊川村整備室	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	JE89-0192	中村道路	縄文		散布地	東奥中山間地区	平成28年8月9日	要試掘調査
2	JE89-1363	瓶ノ木Ⅱ道路						要工事立会
3		瓶ノ木Ⅲ道路						要試掘調査
17 沿河断面高敷整備事業換装補修・被災一般国道283号小岩崎							岩手広域振興局土木部遠野土木センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	ME77-1008	桑畠道路			散布地	遠野市上郷町細越地内	平成28年9月14日	工事着手可
2								
3								
18 一般国道4号紫波地区(城山入口)交差点改良事業							国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり①				紫波郡紫波町二日町字向山地内	平成28年9月14日	要試掘調査
2		可能性あり②						
19 千葉急傾斜崩壊対策事業							岩手広域振興局土木部千厩土木センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	OF00-0359	千厩城(茶臼臼)跡	中世		城館跡	一関市千厩町館山地内	平成28年10月5日	要試掘調査
20 地域連携道路整備事業 一般国道284号 白崖地区							岩手広域振興局土木部一関土木センター	
No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり①				一関市花泉町永井字西駒ノ沢地内～花泉町字大沢田地内	平成28年10月7日～11月4日	要試掘調査
2		可能性あり②						

### 分布調査一覧（3）

21 一関進水地事業（第3進水地、木門及び小堤）

国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり				一関市舞川地内	平成28年10月26日	工事着手可

22 農業水利施設保全合理化事業東組第2地区

潟南広域振興局農政部農村整備室

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	NE77-0190	中村Ⅱ道路	縦文		散布地	西磐井郡平泉町長島地内	平成28年11月10日、22日	要試掘調査

23 農地整備事業（通作条件整備）磐主地区

潟北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	HF74-1316	磐主2道路				九戸郡軽米町大字上諏地内	平成28年11月16日～17日	要試掘調査

24 国营かんがい排水事業 岩手山麓（一期）地区

東北農政局と賀中部農業水利事業所岩手山麓農業水利委託建設所

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	KE60-1206	大畠道路				盛岡市鶴川字鬼鹿地内	平成28年11月22日	要協議
2	KF60-2345	岩利湖F道路						

25 地域連携道路整備事業

潟北広域振興局本部

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり				久慈市山形町下川井地内	平成28年11月25日	工事着手可
2	HF69-2380	太平道路および築堤地	縦文・弥生		集落路	九戸郡洋野町小田の沢地内	平成28年11月24日	要試掘調査

26 警察施設災害復旧事業

岩手県警察本部

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり				釜石市中条町3丁目1、21、118、119	平成28年12月6日	要試掘調査

27 経営体育成基盤整備事業（小山東地区）

潟南広域振興局農政部農村整備室

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり1				奥州市小山東地区	平成28年11月10日	要試掘調査
2		可能性あり2						
3		可能性あり3						
4	NE35-1209	小山方八丁組及び隣接地	中世・近世		城郭跡			
5	NE35-1357	船戸道路	縦文		散布地			

28 経営体育成基盤整備事業（小山中央北地区）

潟南広域振興局農政部農村整備室

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	NE25-2265	南船の手道路及び隣接地	縦文		散布地	奥州市小山中央北区	平成28年11月11日	要試掘調査
2	NE35-0198	峰道路	縦文					
3	NE35-1344	後大畠道路	縦文					
4	NE35-1296	大畠道路	縦文		集落路			

29 経営体育成基盤整備事業（鯨体成地）

潟南広域振興局農政部農村整備室

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり1				奥州市水沢区鯨体成地地区	平成28年11月11日	要試掘調査
2		可能性あり2						

## 分布調査一覧（4）

30 経営体育成基盤整備事業（北下郷地区）

No.	道路コード	道路名	時代	道構・造物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり 1						
2		可能性あり 2						
3		可能性あり 3						
4		可能性あり 4						
5		可能性あり 5						
6		可能性あり 6						
7	NE16-0073	高山道路	古墳		集落跡			
8	NE16-0067	西大畠道路	古墳・平安		散布地			
9	NE16-0160	西畠道路	平安		散布地			
10	NE16-1142	堀前(雄茶古墳)・ 松本館道路	中世		城郭跡	岩手市胆沢区北下郷地区	平成28年11月9日～10日	要試掘調査
11	NE16-0177	幡下道路	縄文		散布地			
12	NE16-1109	里鉾道路	縄文		集落跡			
13	NE16-0097	五千刈道路	縄文		散布地			
14	NE16-1101	福井田道路	平安		散布地			
15	NE15-1313	高谷宿道路	平安		散布地			
16	NE15-2308	石田Ⅰ・Ⅱ道路	平安		散布地			
17	NE16-2023	西光田Ⅰ道路	平安		散布地			
18	NE16-2016	寺領道路	奈良・平安		散布地			

31 経営体育成基盤整備事業（下郷地区）

No.	道路コード	道路名	時代	道構・造物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり 1						
2		可能性あり 2						
3		可能性あり 3						
4		可能性あり 4						
5		可能性あり 5						
6		可能性あり 6						
7	ME98-2230	長信田城	中世(縄文)		城郭跡	花巻市港町地内	平成28年11月10日～11日	要試掘調査

32 経営体育成基盤整備事業（鶴沢地区）

No.	道路コード	道路名	時代	道構・造物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり 1						
2		可能性あり 2						
3	ME78-2103	七水口道路			祭祀跡			
4		可能性あり 3						
5		可能性あり 4						
6	ME78-2029	二丁目組道路	中世		城郭跡			
7		可能性あり 5						
8		可能性あり 6						
9		可能性あり 7						
10		可能性あり 8						
11		可能性あり 9						
12	ME78-2155	鶴沢道路			散布地	岩手市江刺区広瀬地内	平成28年11月24～25日	要試掘調査
13		可能性あり 10						

## 分布調査一覧（5）

### 33 農村防災減災事業（幹轄地区）

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり				广州市江州区田原地内	平成28年11月9日	工事着手可

### 34 農地整備事業（作付条件整備「保全対策型」）九戸西部地区

県北広域振興局農政部農村整備室

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1	JF120111	田代IV道路	縦文		散布地			
2	JF120141	石神田道路	縦文		散布地			
3	JF120173	石神田Ⅱ道路	縦文		散布地			
4	JF12-1110	長興寺I道路	縦文		集落路			
5	JF12-1132	長興寺Ⅲ道路	縦文		散布地			
6	JF12-1162	長興寺V道路	縦文		散布地			
7	JF12-1172	長興寺VI道路	縦文		散布地			
8	JF12-2124	足洗田I道路	縦文、古代		散布地			
9	JF22-0101	沢口I道路	縦文、古代		散布地	九戸郡九戸村地内	平成29年1月5日	工事着手可
10	JF22-0111	小倉I道路	縦文		集落路			
11	JF22-0121	小倉II道路	縦文、古代		集落路、キヤンブ地			
12	JF22-1187	川向I道路	縦文、古代		集落路、キヤンブ地			
13	JF22-2106	川向V道路	縦文		散布地			
14	JF22-2157	雁形塙I道路	縦文、古代		集落路			
15	JF22-2168	達志内畠道路	縦文、古代		散布地			
16	JF22-2186	達志内畠道路	縦文、古代		散布地			
17	JF32-0169	山根V道路	縦文		散布地			

### 35 地域連携整備事業 長郷地区（処理地）

県北広域振興局土木部土木センター

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	結果
1		可能性あり				二戸市原野字大平地内	平成29年3月28日	工事着手可

## 報告書抄録

ふりがな	いわてけんないいせきはくつちょうさほうこくしょ							
書名	岩手県内遺跡発掘調査報告書							
副書名	平成28年度 国庫補助事業							
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第151集							
編集者名	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課							
編集機関	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課							
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL 019-629-6180							
発行年月日	平成30年3月27日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査 原因
		市町村	遺跡番号					
下野尻Ⅱ遺跡	二戸郡一戸町平糠字野尻5-3 地内	035246	JE50-1120	40度 7分 29秒	141度 18分 39秒	20160711~0714	60	記録保存 調査
望野Ⅱ遺跡	北上市和賀町煤孫地内	032069	ME73-0236	39度 15分 55秒	140度 59分 38秒	20161003~1004	18	記録保存 調査
馬越沢遺跡	下閉伊郡山田町意間根第17地割 地内	034827	LG83-0017	39度 30分 55秒	141度 54分 31秒	20161004~1007	50	記録保存 調査
大久保遺跡	滝沢市滝沢字大久保地内	032166	KE95-1277	39度 44分 44秒	141度 5分 40秒	20161011~1020	144	記録保存 調査
高屋敷Ⅱ遺跡	滝沢市滝沢字高屋敷地内	032166	KE95-1226	39度 44分 52秒	141度 5分 45秒	20161011~1020	488	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
下野尻Ⅱ遺跡	狩獵城	縄文	陥し穴状遺構1	縄文土器				
望野Ⅱ遺跡	狩獵城	縄文	陥し穴状遺構1					
馬越沢遺跡	集落跡	縄文、弥生、平安	焼土4 埋設土器1 土坑1 柱穴2	縄文土器				
大久保遺跡	散布地	縄文	土坑1 陥し穴状遺構1	縄文土器				
高屋敷Ⅱ遺跡	散布地	縄文	陥し穴状遺構3					

---

---

岩手県文化財調査報告書 第151集  
**岩手県内遺跡発掘調査報告書**  
(平成28年度 国庫補助事業)

発行日 平成30年3月27日  
発 行 岩手県教育委員会  
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1  
編 集 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課  
印 刷 犀興版社  
〒020-0816 岩手県盛岡市中野1丁目4-14

---

